

郡山女子大学
郡山女子大学短期大学部

令和5年度

研究業績及び社会活動

令和5年4月 ～ 令和6年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】(著書・論文・発表)

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 | |
|-----------------|---|---------------------------------------|------------|---------------------------------|--|--|
| 【郡山女子大学】 | | | | | | |
| 紺野 信弘 (学術論文) | 1. スポーツ栄養研究所新設 | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | スポーツ栄養研究所新設に当たり、関係教員がこれまで行ってきた「スポーツ・栄養」関連の研究の概要を総論的に報告した。 | |
| | 山形 敏明 (その他)(口頭発表) | 1. 北海道における雪害事故の発生状況と除雪ボランティアの社会実装について | 共著 | 2023年9月 | 雪氷研究大会(2023・郡山) 学術講演要旨集 | 北海道警察本部まとめによる雪害事故データから北海道内における雪害事故発生の全体像を分析した。次に、気象庁による過去の積雪についての気象観測データを基に、雪害発生条件を分析した。 |
| 安田 純子 (学術論文) | 2. 設計製図教育における思考プロセス－解説型課題への取り組みから－ | 共著 | 2023年9月 | 日本建築学会大会(2023・近畿) 学術講演梗概集 | 小説描写を与条件とした設計製図課題についてプランニングから空間創造までの思考プロセスについてアンケート結果を基に分析した結果から空間創造プロセスの傾向変化について考察した。 | |
| | 1. おもてなしのこころと家政学－旅の宿の空間分析を例として－ | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | おもてなしについて、旅の宿におけるおもてなしを例として、家政学的視座をふまえて考察した。 | |
| 山本 裕詞 (その他) | 2. ツーリズムと家政学－おもてなしのこころ | 単著 | 2023年11月 | 日本観光学会『研究発表要旨集』第116回全国大会 | ツーリズムと家政学との関係についておもてなしのこころを例として、新たな視点から考察した。 | |
| | (その他) 研究発表 | 1. ツーリズムと家政学－おもてなしのこころ | 単独 | 2023年11月 | 日本観光学会第116回全国大会(於:実践女子大学) | ツーリズムと家政学との関係についておもてなしのこころを例として、新たな視点から考察し、発表した。 |
| 小林 徹 (学術論文) | 報告 | 2. キャリア教育学会との関わり | 単独 | 2023年12月 | 日本キャリア教育学会北海道・東北支部会研究会(於:東北福祉大学) | キャリア教育との関わりと本学のキャリア教育について報告した。 |
| | 1. 戦後「生徒指導」の起点としての教師の特徴 | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学教職年報 第Ⅱ号 | 1965年以降今日に至るまで、4回に渡って改訂されてきた生徒指導に関する行政指導内容について、戦後間もなく文部省の通信教育テキストとして公刊された「中学校・高等学校の生徒指導」における「指導教師」観から考察を加えている。 | |
| 野口 周一 (学術論文) | 1. 子どもが楽しく学べる教材「咳エチケットと正しいマスク装着方法」の検討:現職保育者の考えと特別支援教育の観点に着目して | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学教職年報 第Ⅱ号 | 教材「咳エチケットと正しいマスク装着方法」を視聴した現職保育者の考えと特別支援教育者の観点を基に教材研究をした。(永瀬悦子・小林徹) | |
| | (その他)(学会発表) | 1. 特別支援学校に隣接する知的障害児入所施設職員の意識 | 共同 | 2023年9月9日 | 特別支援教育実践研究学会第2回大会(関西学院大学) | 善方玲実・小林徹 特別支援学校と隣接する知的障害児施設の連携状況を施設職員に対して調査した。 |
| 阿部 恵利子 (学会発表) | 2. 知的障害教育の授業づくりはおもしろい! | 共同 | 2023年9月10日 | 特別支援教育実践研究学会第2回大会(関西学院大学) | 元中学校特別支援学級の担任の立場から、授業実践をどのように生み出し高めていくか、について報告した。 | |
| | 1. 下村湖人と新渡戸稲造 | 単著 | 2023年6月 | 『人物研究』第51号、近代人物研究会 | 新渡戸は京都帝大教授、一高校長を務めたが、無名の勤労青年に語り続けた一面をもつ。下村は台北高校長を最後に社会教育に転身、多くの勤労青年に語り続けた。大澤絢子氏は新渡戸について「大衆を教育する」意図があったと断じた。そこに疑問をいだいた筆者が両者を繋ぐことにより、その解明を試みた。 | |
| 阿部 恵利子 (学会発表) | 2. 下村湖人と『次郎物語』第5部 | 単著 | 2023年12月 | 『人物研究』第52号、近代人物研究会 | 下村は1935年前後に青年団講習所で勤労青年対象の自由主義的熱風教育を展開した。それが軍国主義の波に飲み込まれていく経緯と経過を、戦前の『社の協同生活記』と戦後の『次郎物語』第5部を対比しつつ解明した。 | |
| | 1. 下村湖人著『次郎物語』第5部のモデルをめぐって－大河無門について(1)－ | 単著 | 2024年2月 | 日本比較文化学会第36回九州支部大会(於:西南女学院大学) | 『次郎物語』第5部に大河無門という人物が登場する。そのモデルは大河平聖雄であり、筆者はその名前を『矢吹町史』で見発する。まずはその経緯について報告する。 | |
| 阿部 恵利子 (学会発表) | 2. 下村湖人著『次郎物語』第5部のモデルをめぐって－大河無門について(2)－ | 単著 | 2024年3月 | 日本比較文化学会2023年度東北支部大会(於:戦災復興記念館) | 大河無門のモデル・大河平聖雄は成蹊学園、二高及び京都帝大哲学科に学ぶ。その後、下村湖人の青年団講習所で薫陶を受ける。その間の経緯について報告する。 | |
| | 1. 設計製図教育における思考プロセス－読解型課題への取り組みから－ | 共著 | 2023年9月 | 日本建築学会大会(近畿) 学術講演梗概集 | 建築学生たちの空間創造プロセスを分析・整理し、設計における思考傾向について考察した。 | |
| 阿部 恵利子 (その他) | 1. 木の文化を育む49 森と暮らしをつなぐ～地域を担う人づくり～ | 単著 | 2023年4月 | 林業福島No.704 | 森と人々の暮らしをつなぎ、自然との共生を実践するさまざまな取り組みと、地域の循環を担う人づくりについて紹介した。 | |
| | 2. 木の文化を育む50 生きがいのある暮らし～コミュニティの創出～ | 単著 | 2023年5月 | 林業福島No.705 | 地域社会におけるコミュニティの創出について、身近な自然との触れ合いと生きがいのある暮らしについて解説した。 | |
| 阿部 恵利子 (その他) | 3. 木の文化を育む51 櫓の玩具が未来をつくる～趣味を活かした木工活動～ | 単著 | 2023年6月 | 林業福島No.706 | 櫓を使用した玩具づくりをとおした就労支援事業の取り組みと地域活性化について解説した。 | |
| | 4. 木の文化を育む52 地域でともに生きる～里山を活かしたコミュニティ～ | 単著 | 2023年7月 | 林業福島No.707 | 里山を活かしたコミュニティと就労支援を通して、得たものを地域に還元する仕組みの構築について解説した。 | |
| 阿部 恵利子 (その他) | 5. 木の文化を育む53 想いをつなぐモノづくり～技術と伝統を活かして～ | 単著 | 2023年8月 | 林業福島No.708 | 平安時代から庶民の生活文化として育まれてきた柿渋を使用したモノづくりの技術と伝統文化について紹介した。 | |
| | 6. 木の文化を育む54 ハレの日を祝う伝統工芸 | 単著 | 2023年9月 | 林業福島No.709 | 家族繁栄の象徴として使用されてきた国産ケヤキの杵づくりと日本の伝統工芸について解説した。 | |
| 阿部 恵利子 (その他) | 7. 木の文化を育む55 アロマで育む風土の魅力～ゆず香る文化の里の再興～ | 単著 | 2023年10月 | 林業福島No.710 | 檜葉町の豊かな自然を活かした、香りのプロダクトを通して地域活性化を目指した取り組みと郷土文化を基にした活動の推進について解説した。 | |
| | 8. 木の文化を育む56 新たな木製品の創造～福島県産材の利用促進～ | 単著 | 2023年11月 | 林業福島No.711 | 福島県産の杉を使用した木製幾何学ドームや廃棄天板の有効活用について紹介し、木製品の可能性を追求した様々な取り組みを紹介した。 | |
| 阿部 恵利子 (その他) | 9. 木の文化を育む57 唯一無二のベン作り～人々の想いをつなぐ～ | 単著 | 2023年12月 | 林業福島No.712 | 住宅の廃棄木材で制作したベン作りを紹介し、地域の人の想いを叶える木の可能性を活かしたモノづくりについて解説した。 | |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-------|--|---------|---------------|-------------------------------------|--|
| | 10. 木の文化を育む58 薪を使う暮らしの創出 | 単著 | 2024年1月 | 林業福島No.713 | 間伐されずに放置された森林や里山の荒廃、温室効果ガスの増加等、課題解決に向けた地域の取り組みについて解説した。 |
| | 11. 木の文化を育む59 心躍るコミュニティー-木材店を地域の拠点に- | 単著 | 2024年2月 | 林業福島No.714 | 無垢材を使用した1枚板のレジンテーブルの開発と木材の可能性を追究した取り組みについて紹介した。 |
| | 12. 木の文化を育む60 木工で育む地域の未来~人の暮らしと地域のチカラに~ | 単著 | 2024年3月 | 林業福島No.715 | 木工活動をとおした地域づくりについて紹介した。 |
| 廣野正子 | (その他) 1. 「介護助手」導入の効果検証調査報告書 | 共著 | 2024年2月 | 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター | 福島県内の高齢者施設における介護助手導入に対する効果を検証するため、アンケート調査を実施した。介護助手を導入することにより、業務負担軽減や質的負荷に対しても有益であることが明らかになった。 |
| 長田城治 | (著書) 1. 付属屋と小屋の建築誌 | 共著 | 2024年2月 | 鹿島出版会 | 付属屋をもう一つの民家の系譜として捉え、全国各地の多様な付属屋の特徴を概観し、付属屋からみる建築の歴史としてまとめた。第5章第3節国見の石蔵と高島の外構を執筆した。 |
| | (学術論文) 1. 文化庁令和5年度委託事業近現代建造物緊急重点調査(建築)報告書(福島県編)(口頭発表) | 共著 | 2024年3月 | 公益社団法人日本建築士会連合会 | 文化庁の国庫補助事業である建造物の全国調査で、福島県の調査事業に関する成果について分担執筆した。 |
| | 1. 国指定重要文化財にみる部屋名称の全国傾向とその史的価値 | 単著 | 2023年6月 | 日本建築学会東北支部研究報告集、計画系、86号 | 国指定重要文化財の民家を対象に統計的な分析から部屋名称の全国的な傾向を把握し、部屋名称に平面形式や地域文化圏などを知る資料的な価値があることを明らかにした。 |
| | 2. 山形県高島町における石造建造物とその建設背景 | 単著 | 2023年7月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築歴史・意匠、2023 | 山形県高島町の石造建造物を対象に公共建築で洋風意匠の駅舎と個人所有の石蔵のそれぞれの建設背景を高島石の生産と地域社会の視点から考察した。 |
| | 3. 常磐炭田における炭鉱住宅と住環境 | 共著 | 2023年7月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築歴史・意匠、2023 | 常磐炭田における炭鉱住宅について実測調査や史料から年代別の特徴を明らかにした。 |
| | (報告書) 1. 旧二階堂家住宅主屋・長屋門の国登録有形文化財申請書類 | 単著 | 2023年5月 | 福島市教育委員会 | 福島市に所在する旧二階堂家住宅の主屋・長屋門を国登録有形文化財に具申するための各種申請資料等をまとめ、所見や図面類を作成して提出した。 |
| | 2. 大宮神社社殿調査中間報告書 | 単著 | 2024年3月 | 福島市教育委員会 | 大宮神社本殿の実測調査を含む調査成果の中間報告および下鳥渡神明神社等の福島市内の社殿建築に関する調査成果についてまとめた。 |
| | 3. 丁子屋書店 店蔵・住居蔵・土蔵に関する所見 | 共著 | 2023年6月 | 郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻 | 相馬市の丁子屋書店蔵・住居蔵・土蔵に関する所見をまとめ、今後の存続や利活用に関して協議できるような価値を精査した。 |
| | (デザイン制作) 1. 三春たてもの探検2023イベントフライヤー製作 | 単著 | 2023年9月 | 三春町 | 三春町教育委員会と郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻が主催したイベント広報用フライヤーのデザイン制作を行い、町内に全戸配布した。 |
| | 2. 国見たてもの探検in貝田松田家住宅イベントフライヤー製作 | 単著 | 2023年10月 | 郡山女子大学 | 郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻が主催したイベント広報用フライヤーのデザイン制作を行い、町内に全戸配布した。 |
| 藤村 励子 | (学術論文) 1. バリアフリーマップの作成を通じた学生による障がい学生支援の実践 | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学教職年報 第II号 | 授業の中で学生たちが作成したバリアフリーマップについて実践報告を行った。 |
| | (その他) 1. バリアフリーマップの作成を通じた学生による障害学生支援の実践 | 単著 | 2023年8月 | 日本特殊教育学会第61回大会 | 学生による障害学生支援として、授業で学生たちが作成したバリアフリーマップについて報告した。 |
| 大泉由美 | (学術論文) 1. 生活の社会化に関する研究-変化する家事労働- | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 生活の社会化(家事労働を外部化)によって、新たに生まれた家事労働の質的な変化について考察した。 |
| 高橋真里 | (学術論文) 1. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究-落雪事故発生時の気象要因について- | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学(修士学位論文) | 福島県内市町村の人身雪害のうち、落雪による人身事故発生時の気象要因を調査・分析した。事故発生に影響する気象要因を抽出し、福島県内の人身雪害についての特性を検証した。 |
| 菊池節子 | (その他) 「学会発表」 1. 東北・北海道支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査-居住形態による比較-(示説発表) | 共同研究 | 2023年9月9日~10日 | 日本調理科学会2023年度大会(広島県立大学) | 2022年度日本調理科学会特別研究で得られた大学生のデータ(n=979)を、調理器具の使用状況、料理の作り方や利用する調理器具、調理に対する意識等を居住形態別に比較した。 |
| | 2. 日本における家庭料理ルーツの同定とそれを規定する因子についての解析(口頭発表) | 共同研究 | 2023年9月9日 | 日本調理科学会2023年度大会(広島県立大学) | 日本における家庭料理において「家庭内で調理する」、「家族で供する」という2つの点に着目して食材、調理、食す場面等について調査し、家庭料理の根源を同定し、それを規定する因子について解析を行った。 |
| | 3. 福島県古殿町のミニトマトを使用した6次化商品開発(示説発表) | 共同研究 | 2023年6月10日 | 2023年度 一般社団法人日本調理科学会 東北・北海道支部会(仙台市) | 本学と古殿町の包括連携協定事業である余剰ミニトマトを活用した6次化商品開発取組の紹介と、開発レシピである減塩の観点を踏まえたみそ汁の調製について検討した。 |
| | 4. 調製法の異なるごま豆腐の食味と組織構造、物性について(示説発表) | 共同研究 | 2023年6月10日 | 2023年度 一般社団法人日本調理科学会 東北・北海道支部会(仙台市) | ごま豆腐は煎ったごまをすり鉢ですりつぶし、加水してこし袋に入れ油を絞り出すことで調製される。大量調製にはフードプロセッサーが簡便である。そこで両調理器具で調製したごま豆腐について食味等の検討を行った。 |
| | 5. 「ふくしま健康応援メニュー」のNa/Kについて(口頭発表) | 共同研究 | 2023年11月25日 | 2023年度第35回福島県栄養士会栄養研究発表会(郡山市) | 2022年9月~2023年3月に県内の学校給食にて提供された「ふくしま健康応援メニュー」の汁物のNa/Kについて検討した。 |
| | 6. 世界一の平均余命・香港、長寿要因の同定とそれを規定する因子についての解析(示説発表) | 共同研究 | 2023年7月1日 | 日本国際保健医療学会・第37回・東日本地方会(東京) | 2023年5月にWHOが発表した2023年版の世界保健統計結果から、生活環境、特に「食生活」「運動習慣」「医療、保健」の3点に着目して調査し、長寿を可能とする要因を同定しそれを規定する因子について解析を行った。 |
| | 7. 「妊娠婦のための食生活指針」から「妊娠前から始める妊娠婦のための食生活指針」へ(口頭発表) | 共同研究 | 2023年7月22日 | 第31回・日本健康教育学会学術大会(東京) | 2021年、厚生労働省は「妊娠婦のための食生活指針」を「妊娠前からはじめる妊娠婦のための食生活指針」に変更した。そこで妊娠前の女性を対象とした栄養指導に関する先行レビューを行い、教育内容や効果等について整理した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-------------------------------|---|------------|----------------------------|--|--|
| 水野時子 | 〔報告書〕 1. 古殿町特産物“ミニトマト”の6次化実施報告書 | 単著 | 2024年3月 | 古殿町 | 古殿町の特産物である“ミニトマト”を用いて行った6次化商品開発に関する結果を報告書として提出した。 |
| | (学術論文) 1. スポーツ栄養研究所新設 | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | スポーツ栄養研究所新設に当たり、関係教員がこれまで行ってきた「スポーツ・栄養」関連の研究の概要を総説的に報告した。 |
| 大西弘太郎 | (口頭発表) 1. 女子高校生卓球部の活動量と食事摂取量の実際について | 共同 | 2023年6月4日 | 第9回日本栄養改善学会東北支部学術総会(秋田市・にぎわい交流館) | 女子高校卓球部を対象として部活動中の活動量の実際、食事摂取量の過不足についての現状を報告した。 |
| | (その他) 1. 「妊産婦のための食生活指針」から「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」へ | 共著 | 2023年11月25日 | 第38回日本国際保健医療学会学術大会グローバルヘルス合同大会2023(東京) | 2021年3月、厚生労働省は、妊娠期や授乳期の望ましい食生活の指針や妊娠中の望ましい体重増加量などを示した「妊産婦のための食生活指針」を「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」に変更した。健康なからだづくりは「妊娠してから」ではなく「妊娠前から」行うことが大切である。そこで、妊娠前の女性を対象とした栄養指導に関する先行研究レビューを行い、目的、対象者、教育内容、教育の場、栄養指導者、効果を整理したので報告した。 |
| | 2. 日本における家庭料理ルーツの同定とそれを規定する因子についての解析 | 共著 | 2023年9月9日 | 日本調理科学会2023年度大会(広島) | 日本における家庭料理において「家庭内で調理する」、「家族で供する」という2つの点に着目して食材、調理、食事場面等について調査し、家庭料理の根源を同定し、それを規定する因子について解析を行ったので報告した。 |
| | 3. 「妊産婦のための食生活指針」から「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」へ | 共著 | 2023年7月22日 | 第31回・日本健康教育学会学術大会(東京) | 2021年3月、厚生労働省は、妊娠期や授乳期の望ましい食生活の指針や妊娠中の望ましい体重増加量などを示した「妊産婦のための食生活指針」を「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」に変更した。健康なからだづくりは「妊娠してから」ではなく「妊娠前から」行うことが大切である。そこで、妊娠前の女性を対象とした栄養指導に関する先行研究レビューを行い、目的、対象者、教育内容、教育の場、栄養指導者、効果を整理したので報告した。 |
| | 4. 世界一の平均余命・香港、長寿要因の同定とそれを規定する因子についての解析 | 共著 | 2023年7月1日 | 日本国際保健医療学会・第37回・東日本地方会(東京) | 2023年5月19日にWHOが発表した2023年版の世界保健統計によると、平均寿命が最も長い国は日本で84.3歳だった。2位はスイスで83.4歳。その一方で、男女共に平均寿命が、世界一を誇る地域が存在する。その地域とは、香港である。2021年に発表された香港の平均寿命は男性83.2歳、女性87.9歳と驚異的である。そこで、生活環境、特に「食生活」、「運動習慣」、「医療、保健」という3つの点に着目して調査し、長寿を可能とする要因を同定し、それを規定する因子について解析を行ったので報告した。 |
| 5. 調製法の異なるごま豆腐の食味と組織構造、物性について | 共著 | 2023年6月10日 | 日本調理科学会2023年度東北・北海道支部会(仙台) | ごま豆腐は、煎ったごまをすり鉢ですりつぶし、そこに水を加えてこし袋に入れ、油を絞り出すことで調製されているが、大量に作るにはフードプロセッサーは簡便である。フードプロセッサーによる調製で、より良い食味を生み出すことが可能になるのではないかと推察される。そこで、裏ごしとフードプロセッサーで調製したごま豆腐を用いて、様々な検討を行ったので、報告した。 | |
| 石原正道 | (学術論文) 1. Thermodynamic relations and fluctuations in the Tsallis statistics | 単 | 2023年3月 | The European Physical Journal Plus 138, 241 | マイクロノニカルアンサンブルを用いて、ツァリス統計力学における物理量の揺らぎを計算した。 |
| | 2. Relation between the escort average in microcanonical ensemble and the escort average in canonical ensemble in the Tsallis statistics | 単 | 2023年7月 | The European Physical Journal Plus 138, 614 | エスコート平均を採用したツァリス統計において相異なるアンサンブルの平均間の関係性を明らかにした。 |
| 岡部聡子 | (学術論文) 1. Daily meals in context: A quantitative analysis of elementary school students' drawings | 共著 | 2023年3月9日 | Frontiers in Communication | 福島県内の小学校における参加型学校保健プロジェクトにおける教育効果を普段の食事の絵を数値化して定量的に評価した。 |
| | 2. Attitudes toward future motherhood among female college students in Fukushima Prefecture at seven years after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident | 共著 | 2023年12月 | Radioprotection 58 (4) 271-279 | 東日本大震災原発事故後の2015年と2018年の女子学生を対象にした調査。将来の出産・育児に対する女子大生の自信について、心理的ストレス尺度を用いて評価した。 |
| | 3. スポーツ栄養研究所新設 | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | スポーツ栄養研究所新設に当たり、関係教員がこれまで行ってきた「スポーツ・栄養」関連の研究の概要を総説的に報告した。 |
| 亀田明美 | (口頭発表) 1. 教育ツールとしての児童版鉄尺度の信頼性と妥当性について | 共同 | 2023年6月4日 | 第9回日本栄養改善学会東北支部学術総会 | 成人版鉄摂取尺度を児童用に改訂し、児童の鉄摂取量を把握する「児童版鉄摂取尺度」の妥当性と信頼性について評価した。 |
| | 2. 女子高校生卓球部の活動量と食事摂取量の実際について | 共同 | 2023年6月4日 | 第9回日本栄養改善学会東北支部学術総会(秋田市・にぎわい交流館) | 女子高校卓球部を対象として部活動中の活動量の実際、食事摂取量の過不足についての現状を報告した。 |
| 影山志保 | (学術論文) 1. 福島県内の非山林に生育するコシアブラの放射性セシウム濃度 | 共同 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 除染耕地でのコシアブラ栽培法開発の一環として、葛尾村の山林と郡山市の平地に生育するコシアブラの放射性セシウム濃度を調査し比較した。 |
| | (口頭発表) 1. 祭の食事の放射線量について | 共同 | 2023年5月26日～28日 | 日本家政学会第75回大会講演要旨集(東京家政大学) p.111 | 震災以降、郡山女子大学家庭寮食事を定期的に採取し、放射線量を計測している。放射線量は、サラダ菜、レタスなどの葉野菜で高い値を示していることを報告した。 |
| | 2. 福島県産山菜の放射性セシウム濃度の動向と問題点 | 共同 | 2023年5月26日～28日 | 日本家政学会第75回大会講演要旨集(東京家政大学) p.111 | 山菜やキノコは除染が進んでいない場所で採取されることが多いことから、福島県内で採取されたキノコ、栽培品の放射性セシウム濃度を測定した。放射性セシウム濃度は採取地域や部位により違いがみられることを報告した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------------|--|---------|-------------|---|--|
| | 3. 令和5年度郡山開成の杜復活プロジェクトについて (ポスター発表) 1. 猪苗代湖・裏磐梯周辺水系における環境DNA解析などによる特定外来生物(ウチダザリガニ)の生息分布調査 | 共同 | 2024年2月1日 | 福島県林業研究センター研修本館 | 総合教育園を教育の場として活用するための取り組みと子供たちを募集して開催した探検・自然観察会について報告した。 |
| | 2. 令和5年度郡山開成の杜復活プロジェクトについて (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2024年2月1日 | 福島県林業研究センター研修本館 | 総合教育園を教育の場として活用するための取り組みと子供たちを募集して開催した探検・自然観察会について報告した。 |
| | 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度「復興知」事業活動報告会 (楡葉町コミュニティセンター 楡葉) | 葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。 |
| 佐藤 浩明 (著書) | 1. 生涯スポーツとしての8人制バレーボールにおける一考察 | 共同研究 | 2023年12月 | 令和5年度東北体育・スポーツ学会大会 | 宮城県で開発されたスポーツの一つに8人制の家庭バレーボール(以下8人制)がある。8人制は1950年代に築館町周辺で始まり、県内各地で広く普及し愛好されている。本研究では8人制の歴史や特徴を整理し、生涯スポーツの一資料を得ることを目的とした。 |
| 郡司 尚子 (学術論文) | 1. 福島県内の非山林に生育するコシアブラの放射性セシウム濃度 (その他) 「学会発表」 1. 「ふくしま健康応援メニュー」のNa/Kについて (口頭発表) | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 除染耕地でのコシアブラ栽培法開発の一環として、葛尾村の山林と郡山市の平地に生育するコシアブラの放射性セシウム濃度を調査し比較した。 (武地誠一、金子依里香、郡司尚子、影山志保) |
| | 2. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度「復興知」事業活動報告会 (楡葉町コミュニティセンター 楡葉) | 葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星(根本)絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保) |
| | 3. 令和5年度郡山開成の杜復活プロジェクトについて | 共同 | 2024年2月1日 | 福島県林業研究センター研修本館 | 総合教育園を教育の場として活用するための取り組みと子供たちを募集して開催した探検・自然観察会について報告した。 |
| 諏訪 雅貴 (学術論文) | 1. 身体活動と健康 -余暇活動と労働活動の比較- | 単著 | 2023年4月 | 地域ケアリング 25(4):64-67 | 身体活動が多いことは、基本的には死亡や疾患リスクを低減するが、身体活動をドメインに分けた場合、余暇活動と労働活動は影響が異なる。 |
| | 2. Better mental health and sleep under behavioral restrictions due to COVID-19 in Japanese university students: a cross-sectional survey | 共著 | 2023年7月 | Clocks & Sleep 5(3):373-383 | 大学生を対象とし、新型コロナウイルスによる行動自粛時のメンタルヘルスと睡眠の質をコロナ禍前と比較した。その結果、メンタルヘルスは睡眠とは独立して、睡眠はメンタルヘルスに依存してコロナ禍の方が良好であった。 |
| | 3. 身体活動パラドックス -余暇と職域の身体活動と健康の関係- | 単著 | 2023年7月 | 地域ケアリング 25(7):71-74 | 余暇活動は死亡などのリスクを低減し、労働活動はリスクを上昇させる「身体活動パラドックス」がみられる。 |
| | 4. Relationship between trunk intramuscular adipose tissue content and prevalence of metabolic syndrome in middle-aged Japanese men | 共著 | 2023年9月 | Nutrition 113:112083 | 日本人男性労働者の臍部レベルCT画像より得られた骨格筋面積と骨格筋内脂肪組織面積と、メタボリックシンドローム罹患状況との関連性を調べた。その結果、骨格筋内脂肪組織面積のみがメタボリックシンドロームと関連していた。 |
| | 5. スポーツ栄養研究所新設 (口頭発表) | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | スポーツ栄養研究所新設に当たり、関係教員がこれまで行ってきた「スポーツ・栄養」関連の研究の概要を総論的に報告した。 |
| | 1. 女子高校生卓球部の活動量と食事摂取量の実態について-ケーススタディー- | 共同発表 | 2023年6月 | 第9回日本栄養改善学会東北支部学術総会(秋田市・にぎわい交流館) | 女子高校卓球部を対象として部活動中の活動量の実態、食事摂取量の過不足についての現状を報告した。 |
| | 2. 腹部CT画像より求めた筋内脂肪蓄積とメタボリックシンドローム罹患との関係 | 共同発表 | 2024年3月 | 第31回日本CT検診学会学術集会(愛知県産業労働センター) | 異所性脂肪のうち、骨格筋に蓄積された脂肪の評価法の確立を目指して、日本人男性の健診時の腹部CTの骨格筋の脂肪蓄積とメタボリックシンドローム罹患の関連性について評価した。 |
| | 3. 代謝疾患リスク、身体機能、腰痛の予測ツールとしてのCT画像の可能性 | 共同発表 | 2024年3月 | 第31回日本CT検診学会学術集会(愛知県産業労働センター) | 日本人男性において、腹部CTで観察した内臓脂肪が少なく骨格筋量が多い群では、血液生化学的指標や体力が優れていた。また、骨格筋量と腰痛の関連が見られた。 |
| | 4. 体幹部の筋内脂肪に影響する因子の検索-運動実施頻度の異なる中年男性を対象に- | 共同発表 | 2024年3月 | 第31回日本CT検診学会学術集会(愛知県産業労働センター) | 男性労働者の腹部CTの骨格筋面積と腹囲は、運動習慣とは独立して腹部骨格筋内脂肪面積と関連していた。 |
| 伊藤 央奈 (著書) | 1. 公衆衛生学 健康管理概論 社会・環境と健康2024年版 (学術論文) | 共著 | 2024年3月 | 第一出版 | 第3章(p31-46)、4章(p47-61)、6章(p85-115)について執筆した。 |
| | 1. Association and dose-response relationship between exposure to alcohol advertising media and current drinking: a nationwide cross-sectional study of Japanese adolescents. (査読付) | 共著 | 2023年9月 | Environmental Health and Preventive Medicine 28 58-58. | 日本の青少年を対象にメディアにおける広告への露出と飲酒の関係を検査した。アルコール広告への露出と飲酒の間には、用量反応関係があることが認められた。日本全国の中学・高校に通う青少年を対象としたこの結果は、未成年者の飲酒を防止するための広告規制の必要性を示唆された。 |
| | 2. Secondhand Smoke Exposure and Smoking Prevalence Among Adolescents. (査読付) | 共著 | 2023年10月 | JAMA network open ; 6(10) | 2008年から2017年までの日本の青少年における受動喫煙曝露の傾向を評価し、その頻度と調査期間中の喫煙との関連を検討した。日本の青少年における受動喫煙は減少したが、全体としては高水準にとどまっていた。喫煙に危険のない閾値はないのかもしれない。包括的なたばこ規制戦略の強化は、青少年を守るための禁煙環境実現に向けた日本の第一歩である。禁煙法の実施と効果を検証すべきである。 |
| | 3. Comparison of the responses of cross-sectional web- and paper-based surveys on lifestyle behaviors of Japanese adolescents. (査読付) | 共著 | 2023年10月 | Preventive medicine reports 36 102462-102462 | 日本の中学・高校を対象に実施した紙調査とウェブ調査の回答率および生活行動を比較した。Webベースの調査では、学校からの回答率が低かった。しかし、生活行動の違いが選択バイアスに起因するののか、調査方法に起因するののかは不明である。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----------------------|---|---------|-------------|--|---|
| | 4. Inappropriate timing of salt intake increases the risk of heat-related illness: An observational study. (査読付) | 共著 | 2024年1月 | PLOS ONE https://doi.org/10.1371/journal.pone.0296388 | 暑熱屋外作業中のHRIを予防するための食塩摂取の最適なタイミングを検討することを目的とした。暑い時の運動、労働前に予防的に塩分を摂取することは、むしろ熱中症のリスクを増大させ、有害となりうることが明らかになった。これらのリスクを予防することが重要であると考えられる。 |
| | 5. スポーツ栄養研究所新設 (示説発表) | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | スポーツ栄養研究所新設に当たり、関係教員がこれまで行ってきた「スポーツ・栄養」関連の研究の概要を総論的に報告した。 |
| | 1. Gender differences in relation to return behavior and subjective health views among Katsurao villagers. | 共著 | 2023年8月 | 21th ARAHE Congress. クアラルンプール | 東日本大震災で起きた福島第一原子力発電所の事故で避難生活を余儀なくされた葛尾村民について、帰村と主観的健康観の関連について明らかにした。女性では、帰村した村民の方が主観的健康観や生活満足度が高く、健康度が高い人が有意に多いことが認められた。 |
| | 2. 消防職員の暑熱トレーニングにおける熱中症発生とミネラル摂取の関連 | 共著 | 2024年3月 | 第94回日本衛生学会学術総会 鹿児島 | 消防職員が夏季に行う屋外トレーニングにおける、熱中症症状の発生と普段の食事におけるミネラル摂取との関連を分析することを目的とした。日常生活におけるミネラル摂取が、暑熱下での運動における熱中症発生に関連していることが示唆された。 |
| 星 千 歳 | (示説発表) 勤労者の食生活習慣と疾病の関係 | 共著 | 2024年3月 | 第94回日本衛生学会学術総会 | 疾病の有無とBMI、勤務形態、食生活改善の意識、高血圧と飲酒量・BMIが関係していることが明らかになった。望ましい食事選択への行動変容の必要性と若い世代への健康教育の重要性が再認識された。 |
| 角 田 真佐枝 | (その他) 1. 脂質異常症の栄養指導 | 単著 | 2023年6月10日 | Nutrition Care 2023年6月号, メディカ出版 P38~41. | 自炊できない脂質異常症者の食生活の問題点のピックアップと具体的な食生活の問題解決方法 |
| | 2. 胃切除後患者のコンビニ活用方法 | 単著 | 2023年6月10日 | Nutrition Care 2023年6月号, メディカ出版 P54~55. | 胃切除後、自宅での食生活の実践に向けてコンビニ活用について |
| 柳 沼 和 子 | (学術論文) 1. 分析値を用いた学校給食の栄養摂取量把握の試み | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 学校給食の栄養成分を、理化学的な方法で分析し、その値を用いて生徒一人ひとりのナトリウム摂取量について検討した。 (亀田明美、菅野美穂、柳沼和子) |
| | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度『復興知』事業活動報告会 (楡葉町コミュニティセンター 楡葉) | 葛尾村における大学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星(根本) 絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野鈴、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保) |
| 橋 本 杏 葉 | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度『復興知』事業活動報告会 (楡葉町コミュニティセンター 楡葉) | 葛尾村における大学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星(根本) 絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野鈴、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保) |
| 星(根本) 絢香 | (口頭発表) 1. 教育ツールとしての児童版鉄摂取量の信頼性と妥当性について | 共同 | 2023年6月4日 | 第9回 日本栄養改善学会 東北支部学術総会 | 成人版鉄摂取量を児童用に改訂し、児童の鉄摂取量を把握する「児童版鉄摂取量」の妥当性と信頼性について評価した。 |
| | (その他) 2. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度『復興知』事業活動報告会 (楡葉町コミュニティセンター 楡葉) | 葛尾村における大学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星(根本) 絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野鈴、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保) |
| 吉 田 朱 里 | (口頭発表) 1. 女子高校生卓球部の活動量と食事摂取量の実際について | 共同 | 2023年6月4日 | 第9回日本栄養改善学会東北支部学術総会 | 女子高校卓球部を対象として部活動中の活動量の実際、食事摂取量の過不足についての現状を報告した。 |
| | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度『復興知』事業活動報告会 (楡葉町コミュニティセンター 楡葉) | 葛尾村における大学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星(根本) 絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野鈴、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保) |
| 佐 藤 朱 莉 | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度『復興知』事業活動報告会 (楡葉町コミュニティセンター 楡葉) | 葛尾村における大学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星(根本) 絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野鈴、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保) |
| 【郡山女子大学短期大学部】 | | | | | |
| 齋 藤 美保子 | (その他) 解説 1. ひとこと | 単著 | 2023年10月 | 第220回芸術鑑賞講座「エコールド・バリ版画展」配布冊子 | 学生として知っておきたいバリ派の画家について概説し、特に本学にもブルデルとマリー・ローランさんの作品が常時展示されていることに、注意を喚起した。 |
| | テキスト 1. 『郡山女子大学のブロンズ像』 | 単著 | 2023年12月 | 郡山開成学園生活文化博物館 | 第210回芸術鑑賞講座として学生に鑑賞を促したときの冊子『郡山女子大学のブロンズ像』に加筆訂正2か所を加え、生活文化博物館の参考資料として増刷した。 |
| 會 田 久仁子 | (著書) Nブックス 三訂栄養指導論 | 共著 | 2024年3月31日 | 株式会社建帛社 | 健常者を対象に栄養指導を行う栄養士の役割上の特性を踏まえ、現状の栄養士教育に即した内容の教科書として2010年に発行された。健康日本21(第3次)が2023年5月に公表されたことから、担当する「栄養指導の沿革」章を改めた。 |
| 源 川 博 久 | (学術論文) 1. パパインによる絹タンパク質フィブロインの消化性 | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 源川博久 概要: 絹フィブロインの形状がパパインによる消化性に及ぼす影響を検討し、水溶性フィブロインの消化率は高いが不溶性フィブロインは全く消化しないことを明らかにした。 |
| | (その他) 1. 調製法の異なるごま豆腐の食味と組織構造、物性について | 共同 | 2023年6月 | 日本調理科学会東北・北海道支部会、仙台 | 大西弘太郎、菊池節子、久保木陽子、源川博久 概要: ごま豆腐の食味と組織構造や物性の関係を異なる調理法で官能検査、粒度分布、流動性などについて検討した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|---|----------------------------------|---|--|---|
| | 2. 世界一の平均余命・香港、長寿要因の同定とそれを規定する因子についての解析 | 共同 | 2023年7月 | 日本国際保健医療学会第37回東日本地方会、東京 | 大西弘太郎、久保木陽子、菊池節子、 <u>源川博久</u> 概要：平均寿命が長い地域である香港の生活環境（食生活、運動習慣、医療と保健）について調査した。 |
| | 3. 日本における家庭料理ルーツの同定とそれを規定する因子についての解析 | 共同 | 2023年9月 | 日本調理科学学会2023年度大会、広島 | 大西弘太郎、久保木陽子、菊池節子、 <u>源川博久</u> 概要：日本における家庭料理について、TVアニメまんが日本昔ばなし全話を調査し、料理の食材、調理、地域性などを考察した。 |
| | 4. 「妊産婦のための食生活指針」から「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」へ | 共同 | 2023年11月 | グローバルヘルス合同大会2023（第38回日本国際保健医療学会）、東京 | 大西弘太郎、久保木陽子、菊池節子、 <u>源川博久</u> 概要：妊娠前の女性の栄養指導に関する先行研究レビューを行った結果、医中誌67件、CINii477件（2023年3月）であった。 |
| 小林 澄枝 | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度「復興知」事業活動報告会（楡葉町コミュニティセンター 楡葉） | 葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。（郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星（根本）絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保） |
| 金子 依里香 | (学術論文) 1. スポーツ栄養研究所新設 | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | スポーツ栄養研究所新設に当たり、関係教員がこれまで行ってきた「スポーツ・栄養」関連の研究の概要を総論的に報告した。 |
| | 2. 福島県内の非山林に生育するコシアブラの放射性セシウム濃度 | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 除染耕地でのコシアブラ栽培法開発の一環として、葛尾村の山林と郡山市の平地に生育するコシアブラの放射性セシウム濃度を調査し比較した。（武地誠一、金子依里香、郡司尚子、影山志保） |
| | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度「復興知」事業活動報告会（楡葉町コミュニティセンター 楡葉） | 葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。（郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星（根本）絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保） |
| 善方 美千子 | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度「復興知」事業活動報告会（楡葉町コミュニティセンター 楡葉） | 葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。（郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星（根本）絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保） |
| 上遠野 伶 | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度「復興知」事業活動報告会（楡葉町コミュニティセンター 楡葉） | 葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。（郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星（根本）絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保） |
| 大野 絵梨子 | (その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育 | 共同 | 2023年12月22日 | 福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和5年度「復興知」事業活動報告会（楡葉町コミュニティセンター 楡葉） | 葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。（郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、柳沼和子、橋本杏葉、星（根本）絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、上遠野伶、大野絵梨子、武地誠一、吉田三保） |
| 一柳 智子 | (その他) 1. ひとこと | 単著 | 2023年6月14日 | 第219回芸術鑑賞講座・東京演劇集団風公演「ヘレン・ケラー〜ひびき合うものたち」リーフレット | 開成学園第219回芸術鑑賞講座のリーフレットに講演の内容紹介を寄稿。918字。 |
| 横溝 聡子 | (学術論文) 1. 音楽的情動調整による保育技法の開発 - 幼児期の子どもたちへの情動調律応用アプローチ (査読付) (その他) (演奏) 1. 會田瑞樹パーカッションリサイタルin郡山 2. 佐野悦郎リサイタル&フルート室内楽 | 共著 共 共 | 2024年3月 2023年10月29日 2023年11月29日 | 郡山女子大学紀要第60集 郡山市公会堂／福島県 東京オペラシティリサイタルホール／東京都 | 幼児期の子どもは発達的にまだ感情調整がうまく行えないという問題に対し、集団状況で実施できる情動調律を応用した音楽的な調整法について実験・検証を行い、その効果や可能性を探った。 水野修孝作曲：「ヴィブラフォンと打楽器のための協奏曲」他2曲を演奏。ピアノを担当。 G.ラッポーニ：2本のフルートとピアノのための（リゴレットへの思い）他2曲を演奏。ピアノを担当。 |
| 早川 仁 | (その他) 1. 現代童画会 春季展 2. 福島県総合美術展 3. 現代童画会 '23選抜展 4. 郡山開成学園美術展 5. 県南美術展 6. 現代童画展 | 単著 単著 単著 単著 単著 単著 | 2023年 会期 4月3日～9日 2023年 会期 6月23日～ 7月2日 2023年 会期 8月14日～20日 2023年 会期 8月9日～15日 2023年 会期 9月14日～18日 2023年 会期 11月10日～16日 | 銀座アートホール とうほう・みんなの文化センター 銀座アートホール うすい百貨店ギャラリー けんしん郡山文化センター 東京都美術館 | 作品題名「青い鳥」 サイズF-4号 素材 カンバス・油彩 作品題名「少女にとつてのルビコン川」 サイズF-50号 素材 カンバス・油彩 「ノアの箱舟Ⅱ」 サイズF-20号 キャンバス/油彩 *四国香川展に選出 作品題名「少女にとつてのルビコン川Ⅱ」 サイズF-50号 素材 カンバス・油彩 ・作品題名「「涅槃」」 サイズF-50号 素材 カンバス・油彩 ・作品題名「ちいちゃん、ライダーになる」 サイズF-130号 素材 カンバス・油彩 |
| 山上 裕子 | (著書) 1. 哲学的な考えをいかす 新・保育原理 - 保育の未来を考える - (学術論文) 1. 古典的プラグマティストにみる子ども研究の地平-ジェイムズとデュエイの科学的な心理学への言及に焦点を当てて- (その他) 学会発表 1. G. H. ミードにみる科学的な心理学への向き合い方-子ども研究の思想の視点から- | 共著 単著 単独 | 2024年2月 2023年3月 2023年10月 | 教育情報出版 郡山女子大学教職年報（創刊号） 日本デュエイ学会第66回研究大会 | 「保育所の責任を考える」を分担執筆した。 子ども研究の思想の考究の一環として、ジェイムズとデュエイに焦点を当てて考察をした。 （昨年度、掲載決定が業績報告提出後であったため、今年度報告） 子ども研究の思想の考究の一環として、G. H. ミードに焦点を当てて考察した研究を口頭発表した。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|---|--|---------|-----------------------|---|--|
| 折笠 国康 | 書評 1. 書評 上野正道『ジョン・デューイー民主主義と教育哲学-』 | 単著 | 2023年5月 | 『教育哲学研究』第127号 | 左記書籍の書評を執筆した。 |
| | (学術論文) 1. 本来感研究の動向と課題2 The Trend and Issues of Research on Sense of Authenticity 2 | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 適応的な自己概念として解釈されている本来感 (Sense of Authenticity) にかかわる昨今の先行研究や研究動向をまとめ、今後求められる研究の方向性について検討した。具体的には、「Self-Compassion」等の非認知能力との関連性や類似性などを論じ、本来感研究の発展に貢献する示唆を提供することを目的とした。 |
| 草野 葉子 | (その他) <作品発表> 1. 第73回モダンアート展 | 単 | 2023年4月 | 東京都美術館 | 作品:「きこえる・・・」 樹木・葉・人物による構成I。 |
| | 2. 第5回郡山開成学園美術展 | 単 | 2023年8月 | うすい百貨店ギャラリー | 作品:「たちぬ」 空・街並・樹木による構成。 |
| | 3. 第37回モダンアート福島支部展 | 単 | 2023年8月 | 郡山市民ふれあいプラザ | 作品:「めざめ」 空・街並・植物による構成。 |
| 松田 理香 | (展覧会) 1. 2023現代童画会 春季展 | 単著 | 2023年4月 | 銀座アートホール | 主催:現代童画会 作品名:「光の行方」(S8号) 主な画材:アクリル絵具 |
| | 2. 第49回現代童画展 | 単著 | 2023年11月 | 東京都美術館 | 主催:現代童画会 作品名:「並木道」(F100号) 主な画材:アクリル絵具 |
| 永瀬 悦子 | (学術論文) 1. 色を使った造形活動による個性の萌芽について-学生と幼児が取り組んだモザイク画作品の比較から- | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 幼児が色を認知し興味関心をもって関与を試みようとする色への応答性について、実験的調査を行いまとめた。 |
| | (学術論文) 1. 子どもが楽しく学べる教材「咳エチケットと正しいマスク装着方法」の検討:現職保育者の考えと特別支援教育の観点に着目して- | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学教職年報 第II号 | 教材「咳エチケットと正しいマスク装着方法」を視聴した現職保育者の考えと特別支援教育者の観点を基に教材研究をした。(永瀬悦子・小林徹) |
| 柴田 卓 | (学会発表) 1. STEAM教育の視点からみた自然環境下における保育教材の可能性 | 単 | 2023年7月 | 日本野外教育学会第26回大会 | STEAM教育の視点から自然環境下における保育教材の可能性について検証し、事例を紹介した。 |
| | 2. 環境の豊かさが幼児期の消化器症状に及ぼす影響に関する無作為比較試験 | 共同 | 2023年7月 | 第64回日本心身医学会総会ならびに学術講演会 | 環境の豊かさ(自然保育活動)が幼児の消化器症状に及ぼす影響について調査し、その結果を発表した。柴田千賀子、柴田卓、福土審ほか4名 |
| | 3. STEAM教育の視点からみた自然環境下における教材と保育活動の可能性~保育実践および保育者研修からの一考察~ | 共同 | 2023年11月 | 日本自然保育学会第8回大会 | 作成した自然素材・教材事例集の有効性を例証するため、保育者を対象に実施した質問紙調査の結果を発表した。柴田卓、柴田千賀子 |
| | 4. A Study on the Effectiveness of Natural Teaching Materials Created From a STEAM Perspective and the Awareness of Childcare Workers: Based on a questionnaire survey after childcare worker training | 共同 | 2024年3月 | 10th International Outdoor Education Research Conference | STEAMの視点から作成した自然教材の効果と保育士の意識に関するアンケート調査の結果を発表した。柴田卓、柴田千賀子 |
| | (その他) 1. 自然で遊ぼう・学ぼう・探求しよう! STEAMの視点で広がる保育のための自然素材・教材事例集 | 単著 | 2023年8月 | 郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 自然保育・運動遊び研究室 | 2021年度「緑と水の森林ファンド」公募事業の報告書として、STEAM教育の視点から保育者のための自然素材・教材事例集を作成した。 |
| 宇治 和子 | (著書) 1. 事例で楽しく学ぶ子ども家庭支援の心理学 | 共著 | 2023年9月 | 中央法規出版(株) | 保育士養成課程における「子ども家庭支援の心理学」のテキスト。第3章 幼児期後期の発達の特徴と課題 pp29-40として、当該時期の子どもの心身の発達について実践的にまとめた。 |
| | (学術論文) 1. 音楽的情動調整による保育技法の開発-乳児期の子どもたちへの情動調律応用アプローチ | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 幼児期の子どもは発達のまだ感情調整がうまく行えないという問題に対し、集団状況で実施できる情動調律を応用した音楽的な調整法について実験・検証を行い、その効果や可能性を探った。 |
| | (その他) 「学会発表」 1. 現代の行動特性をSzondi Test因子分析から説明する(1)-若者の「SNSでの悪口投稿」とh・m因子の関係- | 共著 | 2023年9月 | 日本心理臨床学会第42回大会 | 現代のニーズに即した心理検査解釈を検討するため、昨今誹謗中傷や名誉棄損で社会問題化している若者の「SNSでの悪口投稿」に着目し、その背後にある心の動きをSzondi Test因子分析から検討した。 |
| 2. 現代の行動特性をSzondi Test因子分析から説明する(2)-ファビングにみられる省エネモードコミュニケーション(h・m・p因子の関係) | 共著 | 2023年9月 | 日本心理臨床学会第42回大会 | 現代のニーズに即した心理検査解釈を検討するため、昨今スマートフォンの普及に伴い、若者が誰かと一緒にいるにも関わらず自分のスマホを操作するファビングという行動に着目し、その背後にある心の動きをSzondi Test因子分析から検討した。 | |
| 3. 現代の行動特性をSzondi Test因子分析から説明する(3)-若者の「主体性の低さ」とs・p因子の関係- | 共著 | 2023年9月 | 日本心理臨床学会第42回大会 | 現代のニーズに即した心理検査解釈を検討するため、昨今「いい子症候群(2022,金剛)」など表現されることもある若者の「主体性の低さ」という現代の行動特性に着目し、その背後にある心の動きをSzondi Test因子分析から検討した。 | |
| 安部 高太郎 | (学術論文) 1. 保育マップ型記録が捉える遊びの構造 | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 幼児教育学者の河邊貴子による保育マップ型記録が、演技的な遊びをモデルとして捉えていることを示した。 |
| 深谷 悠里絵 | (学術論文) 1. 幼稚園教諭・保育士養成校における実習での音楽実技についての考察~アンケート調査を通して~ | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 幼稚園実習におけるピアノ実技について、実習を終えての気づきや課題などについて分析・検証した。 |
| | (その他) 1. 合唱(課題曲)指導法講習会 小学校の部 ピアノ伴奏担当 | 共 | 2023年5月 | 郡山市音楽教育研究会 けんしん郡山文化センター | 令和5年度NHK全国学校音楽コンクール課題曲を用いた効果的な合唱指導の在り方について |
| | 2. 心のハーモニー合唱交流事業「小・中学校女声の部」発声基礎講座 講師:小針絢子 ピアノ伴奏担当 | 共 | 2023年5月 | 郡山市教育委員会 逢瀬公民館 | 郡山市内の児童生徒が、基本的な発声法や課題曲をもとにした歌唱表現の工夫等について学ぶ。 |
| | 3. 心のハーモニー合唱交流事業「小学校の部」 講師:武田雅博 ピアノ伴奏 | 共 | 2023年6月 | 郡山市教育委員会 けんしん郡山文化センター | 郡山市内の児童生徒が、基本的な発声法や課題曲をもとにした歌唱表現の工夫等について学ぶ。 |
| 4. 心のハーモニー合唱交流事業「発声の部」 講師:羽山晃生 ピアノ伴奏担当 | 共 | 2023年7月 | 郡山市教育委員会 ミュウカルがくと館 | 郡山市内の児童生徒が、基本的な発声法や課題曲をもとにした歌唱表現の工夫等について学ぶ。 | |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|----------------|---|---------|---|--|---|
| | 5. 心のハーモニー合唱交流事業「中学校の部」講師：上西一郎 ピアノ伴奏担当 | 共 | 2023年7月 | 郡山市教育委員会 ミュージカルがくと館 | 郡山市内の児童生徒が、基本的な発声法や課題曲をもとにした歌唱表現の工夫等について学ぶ。 |
| | 6. 桃見台クリスマスコンサート | 共 | 2023年12月 | 郡山市立桃見台地域公民館 | ヴァイオリン ピアノ伴奏 ピアノ連弾 |
| | 7. 福島出身若手音楽家によるアンサンブルコンサート | 共 | 2024年2月 | ふくしん夢の音楽堂（小ホール） | ピアノカルテット |
| 山脇功次 | (学術論文) 1. ノーバディーズ・パーフェクト育児支援に参加した母親の悩みと気持ちの変化の対応 | 共著 | 2023年7月 | 東海公衆衛生雑誌 | 育児支援プログラムであるNobody's Perfectによる参加前の母親の悩みと参加後の気持ちの変化の対応について検討した。 |
| | 2. COVID-19流行とフードテックの浸透に伴う食に関する行動変化と気づきの関連の分析(その他) | 共著 | 2023年11月 | ELSI NOTE | COVID-19流行やフードテックの浸透に伴う食に関する行動の変化とそれに対する気づきや気持ちの関連を解析した。 |
| | 1. 地域福祉ネットワーク事業 事業分析調査報告・提言書 | 共著 | 2023年7月 | 神戸市社会福祉協議会 | 神戸市において、地域福祉ネットワーク事業が設立され10年が経過した。本事業の課題と展望について調査を行った。 |
| 佐々木郁子 | (学術論文) 1. 保育者養成における「絵本の読み聞かせ技術向上の方法の検討～「絵本の読み聞かせのSUDSIPモデル」の提案と実践～ | 単著 | 2023年8月 | 日本基礎教育学会紀要、第28号、pp.65-70. | 教育実習前の学生は実習に向けて様々な準備を行う。その中に絵本の読み聞かせも含まれることが多いが、どのように練習すればわからず困っている学生も多い。そのような状態を脱するという意味で、学生が単独で練習する方法を提案した。 |
| | 2. 保育者養成における「絵本の読み聞かせ」の自己教育モデルの構成～PDCAサイクルと自己調整学習の社会的認知モデルの視座から～ | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | SUDSIPモデルは研究者ではなく実習生の立場から構成された自己教育モデルである。このモデルの構成を自己調整学習と関連させて論じて実践した。 |
| | 3. 2023年度 幼稚園教育実習後のアンケート結果分析～教育実習事前事後指導の内容の向上へ向けて～ | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 2023年度の教育実習授業担当者が、実習後に実習の概要を把握し、事後指導へ還元するためにアンケート調査を行い、その結果を分析した。 |
| | 4. 幼稚園教諭・保育士養成校における実習での音楽実技についての考察～アンケート調査を通して～ | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 幼稚園教諭・保育士養成校の学生を対象として、実習における音楽、特に実技に関してアンケートを実施し、その結果を分析した。 |
| | 5. 初等中等教育における学年段階に応じた目付字の教育的利用の検討～目付絵から三進法目付字まで～ | 共著 | 2024年3月 | 昭和女子大学現代教育研究所紀要第9号 | 江戸時代の数学書『塵劫記』で紹介された目付字を、子どもの発達段階に応じた遊び方について提案した。 |
| | 6. 任意単位による測定と相似概念を測量へ応用する試み～幼児保育専攻「小学校算数教科研究」における実践～ | 共著 | 2024年3月 | 茨城キリスト教大学教職課程論集 | 保育者養成における授業で、相似概念と外延量の指導段階の第3段階である任意単位による測量を利用した教材を作成し、実践した内容をまとめた。 |
| | 7. 物語の原作と絵本・戯曲のストーリー展開の比較分析～『オズの魔法使い』の絵本・人形劇・舞台劇を例に～ | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学教職年報 第II号 | 既に演劇化されていたり、絵本化されている物語を例にとり、物語の原作と絵本のストーリー・戯曲の展開における比較分析を行った。 |
| | (学会発表) 1. 保育者が数量を豊かに表現する語彙力の向上へ向けた検討 | 単著 | 2023年5月 | 日本保育学会 第76回大会 | 保育者養成校に在籍する学生を対象として、日常生活の場面において、どのような数量表現を用いるのかについて調査し、その結果を考察した。 |
| | 2. 保育者養成における「不適切な保育」を題材とする教材化へ向けて～保育者の言葉かけとその背景に着目して～ | 単著 | 2024年3月 | 日本保育者養成教育学会 第8回研究大会（研究発表） | 虐待等が疑われる事案、いわゆる不適切な保育について、言葉かけの視座から整理し、何が問題であるのかを同定した。 |
| | 3. 保育者養成における「数と形」に関する授業内容と数学的意義 | 共著 | 2024年3月 | 日本保育者養成教育学会 第8回研究大会（研究発表） | 保育者養成校における「子どもと環境」における授業内容のうち、数と形に関する内容についての実践についてまとめ、考察した。 |
| 柳沼真美子 | (学術論文) 1. 2023年度 幼稚園教育実習後のアンケート結果分析～教育実習事前事後指導の内容の向上へ向けて～ | 共著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 2023年度の教育実習授業担当者が実習後に実習の概要を把握し、事後指導へ還元するためにアンケート調査を行い、その結果を分析した。 |
| 浅野章 | (展覧会) 1. 国画13の視線展 | 単 | 2023年5月 | ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座 | 「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した作品「若い女」を含め、2点を発表。 |
| | 2. 第97回国展 | 単 | 2023年5月 | 国立新美術館 東京都港区六本木 その後、名古屋展（愛知県立美術館）、福岡展（福岡県立美術館）を巡回 | 同上テーマの大型作品「M嬢の夢」（227×182cm）を発表。 |
| | 3. 第77回福島県総合美術展 | 単 | 2023年6月 | とうほう・みんなの文化センター 福島市 | 同上テーマの作品「青い髪のM嬢」を発表。 |
| | 4. 第5回郡山開成学園美術展 | 単 | 2023年8月 | うすい百貨店ギャラリー 郡山市 | 同上テーマの作品「人魚2023」を含め、2点を発表。 |
| | 5. 第67回郡山市総合美術展 | 単 | 2023年11月 | けんしん郡山文化センター 郡山市 | 同上テーマの作品「林の風景」を発表。 |
| 何燕生 (福島寅太郎) | (著書) 1. 『中国仏性論』 | 単（翻訳） | 法蔵館、 2023年10月 | | 頼永海著による同名の研究書の日本語訳。改革開放後、中国初の宗教学分野の最優秀博士論文の書籍化。7年がかりで日本語訳を完成した。全528頁。 |
| | (学術論文) 1. 「在日本尋找隱元禪師－仙台兩足山大年寺的『黄檗縁』－」 | 単 | 福建省仏教協会/中国人民大学 仏教與宗教学理論研究所、 2023年8月 | 『第三届國際黃檗禪論文集』pp.130-139、依頼原稿 | 仙台にある大年寺の歴史と黄檗宗の諸僧との関係、関係墨蹟、絵画などについて、現地調査をもとに執筆したもの。 |
| | 2. Ven.Yinshun's A History of Chinese Chan Buddhism in the Perspective of Japanese Scholars | 単 | The University of Hong Kong 2023年8月 | Inaugural Forum Beyond Civilizational Clash: The Coalescence of Human Civilizations. | 近代中国の高僧である印順の『中国禅史』についての日本人研究者の評価を通して、当該研究成果の学術的意義を明らかにした。 |
| | 3. 「日本における禪受容の再検討－中世から近世へ－」 | 共 | 日本宗教学会、 2024年2月 | 『宗教研究』97巻別冊、79-86頁。 | 本人が課題責任者（研究班班長）として担当している京都大学人文科学研究所の共同研究の年度特別企画によるパネル発表の要旨。 |
| | 4. 「『弁道話』から読み取れるもの－初期道元の課題－」 | 単 | 日本宗教学会、 2024年2月 | 『宗教研究』97巻別冊、79-80頁。 | 本人が課題責任者（研究班班長）として担当している京都大学人文科学研究所の共同研究の年度特別企画によるパネルで個人が発表した論文の要旨。 |
| | 5. 「パネルの主旨とまとめ」 | 単 | 日本宗教学会、 2024年2月 | 『宗教研究』97巻別冊、85-86頁。 | 本人が課題責任者（研究班班長）として担当している京都大学人文科学研究所の共同研究の年度特別企画によるパネルの発表の主旨とまとめ。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|------|---|------------|-------------|-------------------------------------|---|
| | (その他) (研究会関係) 1. 京都大学人文科学研究所共同研究「禪研究班」第六回研究会 | 共 | 2022年4月29日 | 京都大学人文科学研究所共同研究禪研究班主催 | 本人が課題責任者を務める共同研究課題の本年度最初の研究会(通算第6回)。午前は「弁道話」の会談を担当。午後は角田泰隆(班員・駒澤大教授)、出口康夫(班員・京都大教授)による研究報告。コメンテーターは石井清純(班員・駒澤大教授)、ラジ・シュタイネック(班員・チューリッヒ大教授)。本人は企画運営、総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。 |
| | 2. 京都大学人文科学研究所共同研究「禪研究班」第七回研究会 | 共 | 2023年6月24日 | 京都大学人文科学研究所共同研究禪研究班主催 | 午前は「弁道話」の会談を担当。午後は柳幹康(班員・東京大准教授)、石井公成(研究班顧問、駒澤大名誉教授)による研究報告。コメンテーターは和田有希子(班員・早稲田大招聘研究員)、早川敦(班員・東北福祉大准教授)。本人は企画運営および総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。 |
| | 3. 京都大学人文科学研究所共同研究「禪研究班」第八回研究会 | 共 | 2023年10月30日 | 京都大学人文科学研究所共同研究禪研究班主催 | 午前は「弁道話」の会談を担当。午後は齋藤智寛(班員・東北大教授)、早川敦による研究報告。コメンテーターは程正(班員・駒澤大教授)本人(何燕生)(班長)。本人は企画運営および総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。 |
| | 4. 京都大学人文科学研究所共同研究「禪研究班」第九回研究会 | 共 | 2023年12月23日 | 京都大学人文科学研究所共同研究禪研究班主催 | 午前は「弁道話」の会談を担当。午後は次世代育成特別企画として若手研究者の米野大雄(早稲田大学院)、李明家(班員・総合政策研究大学院)による研究発表。本人も国内外における最新の研究動向について報告した。企画運営および総合司会を担当。対面とオンラインによるハイブリット形式。 |
| | (学会関係) 1. 在日本尋找隱元禪師－仙台大年寺の「黄檗縁」 | 単 | 2023年6月14日 | 東京中国文化センター、京都黄檗宗万福寺ほか共同主催 | 前掲同名の論文の内容について、口頭発表した。 |
| | 2. Ven.Yinshun's A History of Chinese Chan Buddhism in the Perspective of Japanese Scholars | 単 | 2023年8月3日 | The University of Hong Kong | 前掲同名の論文の内容について、英語で口頭発表した。 |
| | 3. 『弁道話』から読み取れるもの－初期道元の課題 | 単 | 2023年9月10日 | 日本宗教学会学術大会in東京外国語大学 | 前掲同名の論文の内容について、口頭発表した。 |
| | 4. 深切懷念星雲大師－我対仏光山人間仏教の一点思考 | 単 | 2024年1月19日 | 香港中文大学、北京大学ほか共同主催。in香港中文大学 | 台湾仏光山の開山祖師星雲が死去一周年記念に開催された国際シンポジウム。星雲氏との出会い、日本における仏光山の現状、人間仏教研究の現状について述べた。オンライン参加。 |
| | 5. 日本企業における宗教文化 | 単 | 2024年1月25日 | 香港中文学EBMAによる日本文化研修プログラム。inホテルオークラ京都 | 学生40名、スタッフ10名総勢50名の研修団。初日の研修プログラムで講演を行った。松下幸之助、稲盛和夫の宗教経営思想、宮崎駿のジブリ映画における宗教的要素を取り上げて話題にした。 |
| 齊藤弘久 | (著書) 1. 第61回新構造土埼玉支部展 2. 第5回郡山開成学園美術展 3. 第95回新構造展 4. 第68回福島県水彩画展 5. 埼玉県版画家協会 | 単著 | 2023年8月 | 埼玉県立近代美術館 | 「Anguri-Mara」ジクレー |
| | | 単著 | 2023年8月 | うすい百貨店ギャラリー | 「MU-Koku(夢告)」ジクレー |
| | | 単著 | 2023年11月 | 六本木 国立新美術館 | 「Ahin-Saka 23-1」ジクレー |
| | | 単著 | 2023年12月 | けんしん郡山文化センター | 「Ahin-Saka 23-2」ジクレー |
| | | 単著 | 2023年12月 | ギャラリー蔵(埼玉県川越市) | 「Ahin-Saka 23」ジクレー |
| 桑野聡 | (学術論文) 1. 【翻訳】ゲルト・アルトホフ「デモンストレーションと演出－ヨーロッパ中世の公共圏におけるコミュニケーションのルール」(1) | 単 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | ドイツのミュンスター大学名誉教授G.アルトホフ氏の1993年発表論文の翻訳を「解題」と共に掲載。当該論文の翻訳は、2007年に翻訳論文集「ヨーロッパ中世史研究の新潮流」として出版予定だったが、事情により実現しなかった。それ故、発表から四半世紀を過ぎているが、当該論文を邦語で読めることには現在でも意義があると考え、アルトホフ教授の同意を得て発表することとした。頁数の関係から今回は本文の翻訳部分のみの掲載となり、詳細な註の翻訳部分は次回に分割して掲載される。 |
| 會田容弘 | (学術論文) 1. <研究ノート>博物館法改正とこれからの学芸員補教育 | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 2023年4月に博物館法が改正された。その改正の背景にある文化観光について関連法などとの関連を考察した。それに基づき、これからの学芸員補教育について提案を行った。 |
| | (その他) 1. 発表 日本考古学の誤謬－山中一郎教授の伝えたかった事－ | 単独 | 2023年10月 | 東北史学会仙台大会 | 山中一郎京都大学名誉教授がなくなり、10年。山中教授は日本考古学が拠り所にした「形式学」がその導入時に誤りがあることを指摘した。それを克服するために、「技術学」研究を提唱した。その再評価をおこなった。 |
| | 2. 報告 笹山原遺跡No.16第22次発掘調査報告 | 結城駿ほか3名と共著 | 2023年12月 | 東北日本の旧石器文化を語る会予稿集 | 2023年5月に発掘調査を行った笹山原No.16旧石器時代の資料について報告をおこなった。 |
| | 3. 報告 考古学実習報告－笹山原遺跡No.16第22次発掘調査 | 結城駿と共著 | 2024年3月 | 地域創成学科報告集第6集 | 2023年5月に実施した笹山原遺跡No.16の発掘調査の報告である。平安時代の竪穴住居2棟、焼成遺構1基、土坑1基、後期旧石器の石器遺物28点出土した。 |
| 知野愛 | (学術論文) 1970年代の「農山漁家生活水準調査」に見る農村家庭生活－福島県の生活改良普及員・専門技術員の視点から－ | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | 全国的に1970年代前半に実施された生活改善普及事業の一環として実施された「農山漁家生活水準調査」(福島県では1973年実施)について調査し、当時の農村家庭生活の生活水準や課題について生活改良普及員・専門技術員達がどのように評価したのか等をまとめ考察した。 |
| 小松太志 | (展覧会) 1. 第73回モダンアート展 2. 第37回モダンアート福島支部展 3. 第5回郡山開成学園美術展 | 単著 | 2022年4月 | 東京都美術館(東京都台東区) | モダンアート協会の美術公募展。作品名:「深々(しんしん)」(S100号、CG・プリント) |
| | | 単著 | 2022年8月 | 郡山市民ふれあいプラザ(郡山市) | モダンアート協会福島支部主催の会員による美術展。作品名:「然々(そうそう)」(F120号、CG・プリント)他2点 |
| | | 単著 | 2022年8月 | うすい百貨店ギャラリー | 郡山開成学園主催による美術展。作品名:「いとなみ」(S10号、CG・プリント) |
| | (デザイン) 1. 復興の灯火プロジェクトの広報ツール | 単著 | 2023年3月 | 復興の灯火プロジェクト | 復興の灯火プロジェクトのチラシ、ポスター等を制作した。 |
| 山口猛 | (学術論文) 1. 「チーム発想法概論」の授業実践におけるマインドマップ導入効果の評価 | 単 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要第60集 | チーム発想法の学修評価にマインドマップやルーブリックを導入した前年度の授業実践と比較し、本年度のマインドマップ導入改善の効果をまとめた。 |

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|--------|--|---------|-----------------------------|--|--|
| | 2. GIGAスクールに対応した情報モラル教育方法の検討 | 単 | 2024年3月 | 郡山女子大学教職年報 第II号 | 本学の教職課程の開講科目「教育方法論」で実施したICTツールを用いた情報モラル教育手法の検討に関する授業実践をまとめた。 |
| 仲田 佐和子 | (その他) 展示 1. 「郡山女子大学短期大学部地域創成学科発掘ガール」 | 共同 | 2023年 9月2日～ 10月1日 | 大安場史跡公園ガイダンス施設 | 2001年から継続実施した笹山原遺跡No16の調査記録をパネルと出土資料により紹介、展示した。 |
| | 2. 「プロ展－海老根伝統手漉し和紙の伝承とこれから－」 | 共同 | 2023年 12月13日～21日 | 郡山女子大学建学記念講堂展示ギャラリー | 郡山市中田町に伝承されている海老根伝統手漉し和紙をパネルと実物資料により紹介、展示した。 |
| 黒沼 令 | (その他) 1. 第97回国展彫刻部 | 単 | 2023年5月 | 国立新美術館 東京都中央区 | 団体公募展。「魄」(270×180×100cm 山桜・樺) 出品。 |
| | 2. 八百二×黒沼令作品展 | 単 | 2023年5月 | 紫波町情報交流館 岩手県紫波町 | 紫波町主催。橋本八百治との合同作品展。「哲学者」(70×20×30cm 樺) 他4点出品。 |
| | 3. 第76回福島県総合美術展 | 単 | 2023年6月 | とうほう・みんなの文化センター 福島県福島市 | 福島県主催の公募展。「彫刻家」(70×25×30cm 樺) 出品。 |
| | 4. 第5回郡山開成学園美術展 | 単 | 2023年8月 | うすい百貨店ギャラリー 福島県郡山市 | 共同展示会。「画家-I」(75×25×30cm 樺) 出品。 |
| | 5. 2日展 | 単 | 2023年8月 | コラッセふくしま 福島県福島市 | 共同展示会。「彫刻家」(70×25×30cm 樺) 出品。 |
| | 6. 脈・FUKUSHIMA 2023展 | 単 | 2023年8月 | とうほう・みんなの文化センター 福島県福島市 | 共同展示会。「魄」(270×180×100cm 山桜・樺) 他2点出品。 |
| | 7. 第76回岩手芸術祭美術展 | 単 | 2023年10月 | 岩手県民会館 岩手県盛岡市 | 岩手県主催の公募展。「彫刻家」(70×25×30cm 樺) 出品。彫刻部門芸術祭賞受賞。 |
| | 8. 国展秋季展 | 単 | 2023年11月 | 東京都美術館 東京都台東区 | 共同展示会。「弧月」(95×45×45cm 樺) 出品。 |
| | 9. 第59回福島県彫刻会展 | 単 | 2023年11月 | とうほう・みんなの文化センター 福島県福島市 | 共同展示会。「画家-I」(75×25×30cm 樺) 他1点出品。 |
| | 10. 第67回郡山市総合美術展 | 単 | 2023年11月 | けんしん郡山文化センター 福島県郡山市 | 郡山市主催の公募展。審査員として「数学者」(60×20×25cm 樺・桐) 出品。 |
| | 11. アートフェスタいわて2023 | 単 | 2024年2月 | 岩手県立美術館 岩手県盛岡市 | 共同展示会。「彫刻家」(70×25×30cm 樺) 出品。 |
| 佐藤 愛未 | (その他) 1. 書評：阪本尚文編『知の梁山泊 草創期福島大学経済学部の研究』 | 単著 | 2024年3月 | 『福島史学研究』第102号3月 | 創立100年を迎えた福島高等商業学校・福島経済専門学校・福島大学経済学部を主題にして作成された論集である。「知の梁山泊 草創期福島大学経済学部の研究」の書評を行った。 |
| 和知 剛 | (学術論文) 1. 福島市立図書館（第一次）の成立と明治後期の殖産興業政策の関連を探る | 単著 | 2024年3月 | 郡山女子大学紀要 第60集 | 本稿では、福島市立図書館（第一次）の開館に際して「皇太子行啓」が何らかの役割を果たしたのか、あるいは開館を彩る要素のひとつに過ぎなかったのか、残された資料からその痕跡を探っていく。 |
| | (その他) 1. 国立国会図書館デジタルコレクションを利用する－ | 単著 | 2023年3月 | 「大学の図書館」42(3) | 特集 図書館員最近のTips：最近リリース/リニューアルされた図書館員へのオススメのアイテムの利用法 |
| | 2. 「課題」解決のための教員と大学図書館の連携について | 単著 | 2023年7月 | 「大学の図書館」42(7) | 特集 教員との連携 |
| 佐々木 達矢 | (その他) 「学会発表」 (国内会議) 1. アップストリアップストリーム型とダウンストリーム型の間接互恵性の統合による協力の進化 | 共著 | 2023年9月 | 2023年度日本数生生物学会年会 (JSMB 2023) (於：奈良女子大学) | 間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。本人担当部分：全般。共著者名：佐々木達矢、内田智士、岡田勇、山本仁志 |
| | 2. 互恵性メカニズムの統合と協力と非協力の安定共存 | 共著 | 2023年12月 | 日本人間行動進化学会第16回大会 (HBES-J 2023) (於：大阪公立大学) | 間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。本人担当部分：全般。共著者名：佐々木達矢、内田智士、岡田勇、山本仁志 |
| | 3. The evolution of cooperation and diversity by integrated indirect reciprocity | 共著 | 2024年1月 | ワークショップ：ヒトの協力的行動の理解 －間接互恵性とその周辺－ (於：総合研究大学院大学・葉山キャンパス) | 間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。本人担当部分：全般。共著者名：佐々木達矢、内田智士、岡田勇、山本仁志 |
| | 4. Integrated indirect reciprocity can stabilize the dimorphism of reciprocators and defectors without the second-order free rider problem | 共著 | 2024年3月 | ゲーム理論ワークショップ2024 (於：京都大学) | 間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。本人担当部分：全般。共著者名：佐々木達矢、内田智士、岡田勇、山本仁志 |
| | 5. Integrated indirect reciprocity can stabilize the dimorphism of reciprocators and defectors without the second-order free rider problem | 共著 | 2024年3月 | 計測自動制御学会 第51回知能システムシンポジウム (於：近畿大学東大阪キャンパス) | 間接互恵性による協力の進化ゲームにおいて協力と非協力が安定共存できる新戦略を提案・分析した。本人担当部分：全般。共著者名：佐々木達矢、内田智士、岡田勇、山本仁志 |
| 米本 順子 | (その他) 1. 第97回国展 | 単 | 2023年 5月3日～15日 | 東京都国立新美術館 | F130号「ひそひそ話」 |
| | 2. 第77回福島県総合美術展覧会 | 単 | 2023年 6月23日～ 7月2日 | とうほう・みんなの文化センター | F50号「朝」 洋画の部佳作受賞 |
| | 3. 第5回郡山開成学園美術展（グループ展） | 単 | 2023年 8月9日～15日 | うすい百貨店ギャラリー | F50号「朝」 |
| | 4. 第67回郡山市総合美術展 | 単 | 2023年 11月14日～19日 (前期) | けんしん郡山文化センター | F100号「やすらぎを」 |
| | 5. 第7回コレカラノヒトタチ展（グループ展） | 単 | 2024年 1月29日～ 2月4日 | 銀座ギャラリーあづま | F20号、F4号 計2点 |

【社会活動】

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|----------|--|---|
| 関口 修 | 医療法人安積保育園 あさかホスピタル 一般財団法人大学・短期大学基準協会 日本私立短期大学協会 私立短期大学教育振興会 全私学連合代表者会議 日本私立学校振興・共済事業団運営審議会 日本私立大学協会 全 東北支部 福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会 | 理事 事業計画、収支予算に関する検討 顧問・理事 大学・短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る 会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与 会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応 短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議 副会長 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す 評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること 顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す |
| 【郡山女子大学】 | | |
| 紺野 信弘 | 令和5年度第2回食物栄養学科セミナー | 郡山女子大学で行われた食物栄養学科セミナーにおいて、「健康と身近なスポーツ」という演題で講演を行った。 |
| 山形 敏明 | 全国建築系大学教育連絡協議会 日本建築学会協力委員 知的生産者選定支援機構評議員 令和5年度福島県安全で安心な県づくり促進事業 郡山市史編さん推進委員会・防災ワークショップ委員 (2022年10月～) | 「全国建築系大学教育連絡協議会」総会において連絡代表責任者として議案について審議する。建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案等を行う。 知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力する。 福島県猪苗代町における「地区防災計画」策定に係る、街歩き・防災マップ作成・ワークショップ実施に伴う企画及び実施指導を行った。猪苗代町西館地区「地区防災計画」を監修した。 郡山市史編さん推進委員会・防災ワークショップ会議に参加し、郡山市史続編5、通史編（2024年発行）への検討を行う。 |
| 安田 純子 | 福島県留学生交流推進会議運営委員会 郡山市国際交流協会運営委員会 福島県医療福祉関連教育施設協議会 オーストラリア学会 | 運営委員 留学生交流事業協力、会議等の出席 運営委員 郡山市における国際交流事業の推進協力、会議等の出席 理事 事業協力、会議等の出席、ネクストホープ研修・教員研修準備 ネクストホープ研修当番校として準備運営 理事 オーストラリア学会の運営、日豪交流、オーストラリア大使館内豪日交流基金との連携協力 |
| 山本 裕詞 | NPO法人 発達支援機関 リソースセンター ONE (ワン) 東北教育学会 日本学校ソーシャルワーク学会 郡山市立学校用教科用図書採択地区選定委員 | 役員（監事） 発達障害児の自立支援を目的に、発達相談や治療教育及び講演活動等を行う当該法人において、理事の業務執行状況を監査した。 理事として会の運営に携わった。 査読委員として、学会誌編集に係わった。 令和6年度使用教科用図書の選定に関し、学識経験者として意見を述べた。 |
| 小林 徹 | (委員等) 郡山市教育支援委員会委員 三春町子ども・子育て支援会議委員（会長） 福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会理事 郡山市史編さん推進委員会「教育・文化ワークショップ」委員 特別支援教育実践研究会 理事 (研修会講師等) 郡山市 令和5年度第3回幼稚園・保育所・小学校合同研修会 福島県保育士等キャリアアップ研修 第40回（令和5年度）芳山教育研究発表会 | 郡山市立小・中学校に就学・在学する心身に障がいや有する児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。 「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。 肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として委嘱された。 郡山市史の編さんのための委員会に教育関係の学識経験者として参加した。 第2期理事として留任した。任期は2025年10月まで。 令和5年7月28日（金） 会場：総合教育支援センター 講演「特別な支援を必要とする子どもとの関わりについて」 令和5年10月21日（土） 会場：とうほう・みんなの文化センター 令和5年12月8日（金） 令和6年1月19日（金） オンライン開催 科目名「障害児保育」 令和6年1月26日（金） 会場：郡山市立芳山小学校 知的障がい学級における研究授業の指導助言 |
| 野口 周一 | 総合歴史教育研究会理事 比較文化史研究会理事 郡山女子大学家政学部生活科学科主催市民講座担当 (2023年9月23日) | 学会創立50余年の伝統を持つ本学会の運営、学会誌査読等を受け持つ。 本学会の運営、学会誌査読等を受け持つ。 「青年たちの協同生活の意味を考えるー下村湖人と『次郎物語』第5部ー」と題して、1935年前後の湖人の塾風教育の意味を考えた。当時の世相が命令で動く青年を育てることを目的とする中で、自ら考え、判断し、行動することの重要性を説いた。 |
| 阿部 恵利子 | 放送大学面接授業 郡山女子大学生活科学科主催 市民講座「暮らしの1ページ」 日本建築学会協力委員 福島県森林審議会委員 福島県森林林業緑化協会 月刊『林業福島』執筆 知的生産者選定支援機構評議員 福島県森林自己学習支援事業 | 福島学習センターにて、生活と福祉「豊かな生活を考える」の面接授業を実施した。 (令和4年6月24日・25日) 「これからの住まいと暮らしを考える」をテーマに講演を行った。 (令和4年9月23日) 建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案を行った。 福島県における森林・林業の現地調査および計画等について審議した。 森林・林業の新しい技術や知識など広範囲にわたる情報を発信した。 知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力した。 「人と木をつなぐプロジェクト」として採択され、福島県の森林環境の保全と木材利用を推進する活動を通して、地域貢献につながる活動をした。 |
| 廣野 正子 | 令和5年度「福祉の将来を担う人材育成事業」出前講座 令和5年度新人向けOJT（プリセプター）先進事例研修 ～新人職員育成の取り組みについて事例から学ぼう～ | 講師 派遣先の福島県立津西陵高等学校 健康福祉コースの生徒に対して「介護の基本的な考え方」をテーマに講義した。 講師 福島県社会福祉協議会主催による研修において、「人材育成におけるプリセプター導入意義について」の講義を担当した。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|---|---|
| | 令和5年度郡山市内大学との協定の基づく連携事業 | 委員 郡山市教育委員会と連携し、大学生ボランティア事業の推進を行う。 |
| | 郡山市介護保険運営協議会 | 委員 第八次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の進捗状況および第九次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画策定に係る各種調査について協議した。 |
| | 郡山市地域密着型サービス等運営委員会 | 委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した。 |
| | 社会福祉法人郡山福祉会 | 評議員 社会福祉法人の運営が適切になされているか、評議員会においての審議に携わる。 |
| | ふたば・こおりやまふれあい祭り | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出店し、来場者へアロマトリートメントの施術をした。 |
| 瀬谷 真理子 | 福島大学 福島県文化振興審議会 | 人間発達化学類非常勤講師「家庭科教育法Ⅲ」 委員・福島県の文化振興を図るため設置された委員会において、本県の文化振興の在り方等について審議に携わる。 |
| | 福島県社会教育委員の会議 | 社会教育委員・本県における社会教育推進の在り方についての審議に携わる。 |
| | 福島県教育委員会指定管理者選定検討会委員会 | 会長・社会教育施設関連の指定管理者選定のための検討会において会長として意見をまとめ提案を行う。 |
| | 公益財団法人ヨークベニマル文化教育事業財団文化教育事業実施委員 令和5年度福島県高等学校教育研究会家庭部会相双支部実技講習会 (福島県高等学校教育研究会家庭部会相双支部主催) | 委員・文化教育事業の実施に向けた検討を行うとともに、選考についても意見を付してまとめる。 令和5年度福島県高等学校教育研究会家庭部会相双支部実技講習会において「家庭科教育における被服製作の現状と課題～家庭科技術検定 新4級の試作～」をテーマに講演を行った。 会場：ふたば未来学園高等学校 対象：家庭科教員(2023年8月2日) |
| 長田 城治 | 日本建築学会 東北支部歴史・意匠部会 委員 | 歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に委員として携わった。 |
| | 日本建築学会 民家小委員会 委員 | 民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。 |
| | 日本建築学会 建築歴史・意匠本委員会 情報システム対応WG 委員 | 日本建築学会建築歴史・意匠本委員会の専用HPの更新、迅速な情報発信などを行った。 |
| | 日本建築学会 東北支部 東北建築賞作品賞 選考委員 | 日本建築学会東北支部が主催する東北建築賞作品賞の選考委員を務めた。 |
| | 日本建築学会 文化財建造物防災体制検討特別研究委員会 福島県責任者 | 文化財建造物の災害時の取りまとめなどを行う福島県の責任担当者として活動した。 |
| | 日本建築学会大会 建築歴史・意匠部門 若手優秀発表審査員 | 2023年度日本建築学会大会における建築歴史・意匠部門の学術講演会で、若手優秀発表の審査員を担当した。 |
| | 福島市文化財保護審議会 委員 | 福島市文化財保護審議会の委員として、同市文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。 |
| | 国見町文化財保護審議会 委員 | 国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。 |
| | 三春町歴史民俗資料館運営協議会 委員 | 三春町歴史民俗資料館運営協議会の委員として、同資料館の運営について協議し、三春町の歴史や文化の向上にむけた取り組みを提案した。 |
| | 三春町文化財保存活用地域計画策定協議会 委員 | 三春町文化財保存活用地域計画策定のための協議会の委員として、文化財を活かしたまちづくりに関して意見等を行った。 |
| | 旧広瀬座再整備指導委員会 委員 | 国指定重要文化財旧広瀬座の再整備事業に建築史専門の委員として関わり、保存修理工事の方針や耐震補強や活用工事について協議した。 |
| | 近現代建造物緊急重点調査(建築) 福島県統括責任者(建築学会) | 第二次世界大戦終結時(1945年)から20世紀末(2000年)までに造られた優れた建築物や土木工作物(近現代建造物)の保護を目的とする近現代建造物緊急重点調査事業(建築)に福島県統括責任者として参加し、事業運営や建物の選定、実地調査、所見執筆などを行った。 主催：文化庁 |
| | 熱中小学校 社会科教員 | NPO法人はじまりの学校 |
| | 放送大学面接授業 | 科目名「日本建築の見方と評価法」 |
| | 受託調査事業：令和4・5年度近現代建造物緊急重点調査(建築) 1次調査リストの作成 | 令和4・5年度に実施する福島県の近現代建造物緊急重点調査(建築)に必要な1次調査リストの作成を実施した。委託者：(公社)日本建築士会連合会 |
| | 受託調査事業：福島市旧二階堂家住宅主屋・長屋門の国有有形文化財に登録 | 福島市上島渡の旧二階堂家住宅主屋・長屋門について、文化財申請のための各種調査を実施し、所見執筆や申請用の各種図面を作成して文化庁に提出した。その結果、主屋と長屋門の2棟が国登録有形文化財(建造物)に答申された。委託者：福島市 |
| | 受託調査事業：種渡神社および三匹獅子舞の魅力度向上に関する事業 | 三春町種渡に所在する種渡神社社殿の歴史的・地域的価値を精査するための調査を実施し、三匹獅子舞の奉納時に紹介した。また、社殿彫刻への色付けの監修、三匹獅子舞のキャラクター製作などを行った。 |
| | 受託調査事業：大宮神社本殿の実測調査を実施し、平面図や立面図、配置図の他、彫刻面の作成と本殿の建築的特徴を把握した。主催：そうま歴史資料保存ネットワーク | 福島市の大宮神社本殿の実測調査を実施し、平面図や立面図、配置図の他、彫刻面の作成と本殿の建築的特徴を把握した。主催：そうま歴史資料保存ネットワーク |
| | 受託調査事業：相馬地区歴史的建造物調査 | 相馬地区内に現存する歴史的建造物の調査を実施し、建物の価値等を評価した。 主催：そうま歴史資料保存ネットワーク |
| | 講演会：比類なき銘木の館-旧吉田家住宅主屋・紫雲閣の魅力 | 旧吉田家住宅主屋・紫雲閣の魅力をこれまでの様々な調査成果を用いて解説し、学生目線での魅力の発表や参加者を交えた今後の活用計画の協議などを行った。主催：三春町 |
| | イベント：三春たてももの探検2023 | 国登録有形文化財旧吉田家住宅主屋・紫雲閣の文化財活用イベントを企画・運営し、建物の魅力を発信する子ども向けのワークショップや大人向けの建物解説などを行った。 共催：三春町教育委員会、郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻 |
| | イベント：国見たてももの探検in員田松田家住宅 | 国登録有形文化財松田家住宅主屋・土蔵・表門および堀の文化財活用イベントを企画・運営し、建物の魅力を発信する子ども向けのワークショップや大人向けの建物解説などを行った。 主催：郡山女子大学生生活科学科建築デザイン専攻、協力：国見町企画調整課 |
| | イベント：旧吉田家住宅紫雲閣再オープン記念イベント | 国登録有形文化財旧吉田家住宅紫雲閣の修復工事完了と再オープンを記念したイベントに参加し、紫雲閣の特徴や魅力について建物解説を行った。主催：三春町 |
| 島野 光正 | 福島県ヤングケアラー専門家会議 | 委員 福島県のヤングケアラー対策の促進に関すること、支援者への研修会の講師を担った。 支援者マニュアルの作成に携わる。 |
| | 福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会 | 会長 大規模災害時の福島県、職能団体、種別協議会による組織で、令和6年能登半島地震の際に県災害派遣福祉チームへの協力要請等を行った。 |
| | 本宮市保健福祉行政政策推進協議会 | 委員 本宮市の保健福祉行政全般における各種計画等の事項について協議する。 |
| | NPO法人福島県福祉サービス振興会 福祉サービス第三者評価審査委員会 郡山市介護認定審査委員会 | 委員 当該法人が実施した福祉サービス第三者評価の審査を行う。 委員長職務代理 郡山市の介護保険における要支援認定・要介護認定の審査判定を行う。 |
| | 特定非営利活動法人あいえるの会 | 監事 障がい者の法人の活動及び会計についての業務監査を行う。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------------------------------|---|---|
| | 災害福祉フォーラム | 呼びかけ人 福祉関係者、市民、行政職員、研究者等による災害福祉の実践、研究、人材育成を目指す会として設立呼びかけ人として協力する。 |
| | 公益社団法人日本社会福祉士会ケアマネジメント実践記録様式の見直し作業委員会 | 委員 日本社会福祉士会が開発した「ケアマネジメント実践記録様式」について介護保険制度改正に合わせた見直し作業を行う。 |
| | <講師等> 福島県ヤングケアラー支援者研修会 | 福島県主催ヤングケアラー支援における教育、障がい、介護、子育て支援、医療、民生・児童委員、行政関係者向けの連携のための研修会の講演とグループワークを担当した。令和5年6月15日県南方部研修を担当した。 |
| | いわき市「令和5年度医療・福祉従事者向けヤングケアラー支援に係る研修会」 | いわき市主催のヤングケアラー支援に係る関係者向けの研修会の講師を令和5年10月26日に行った。 |
| | 災害福祉フォーラム設立記念シンポジウム | パネリスト 福祉関係者、市民、行政職員、研究者等による災害福祉の実践、研究、人材育成を目指す会として設立会する。令和5年9月1日に実施した。 |
| | あさかの学園大学 | 郡山市の高齢者のためのあさかの学園で「介護保険と住民の役割」について令和5年11月16日に行った。 |
| | 福島県立医科大学保健科学部 | 非常勤講師 「災害リハビリテーション」講義を令和5年5月8日、5月15日、5月22日に行った。 |
| | ポラリス保健看護学院 | 非常勤講師 「自助・互助を支える」の講義を令和5年8月30日、9月21日に行った。「地域組織化活動論」の講義を令和6年2月1日、8日に行った。 |
| Daniel Horner (ダニエル・ホーナー) | Miharu Town's Junior High School English Oratorical Committee and Contest | Chief judge of the English speech contest and committee member. My duties are to recruit new judges, preside over the speech contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to ameliorate the contest. |
| | Koriyama City's Junior High School English Oratorical Committee and Contest | My duties are to preside over the speech contest, advise the judges about judging the contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to improve the contest. |
| | University of Wisconsin – Eau Claire (UWEC) Alumni Association | Coordination of international exchanges of information, cultural heritage, teachers, and students between Fukushima and Wisconsin State, USA. |
| 近内直美 | 福島県社会福祉協議会運営適正化委員会 | 委員 社会福祉サービスに関する苦情の解決や、福祉サービス利用援助事業の適正な運営に協力した。研修会では、以下の内容の協力を行った。 第1回 パネラー「事例から学ぶ苦情解決」 第2回 講師「権利擁護における意思決定支援について」 |
| | 本宮市地域連携事業 | 「本宮市高齢者いきいき交流事業」開催における企画、運営に当大学の学生と共に参加し、高齢者生きがい対策事業に協力した。 |
| | 福島県高齢者虐待対応専門職チーム | 運営委員 福島県社会福祉士会と福島県弁護士会と協同し、虐待対応に関する研修の企画と運営、市町村の虐待ケースへの助言など協力した。 |
| | 郡山市市民協働のまちづくり推進協議会 | 委員 「第二次郡山市協働推進基本計画」、「第二次こおりやまユニバーサルデザイン推進指針」の推進について審議し部会長として協力した。 |
| | 郡山市第1層協議体 | 構成員 郡山市の地域共生社会構築に向け第2層協議体の構築への助言を行い、その推進に協力した。 |
| | 特別非営利活動法人 あいえるの会 | 理事 障がい者福祉の向上に関する事業の経営及び運営について助言など協力した。 |
| | 社会福祉法人 笑風会 | 入所判定第三者委員 特別養護老人ホームの入所判定について、公正・公平かつ適切な入所判定がなされるよう協力した。 |
| | 社会福祉法人 郡山市社会福祉事業団 | 評議委員 施設の経営及び運営が事業を評価し、より良い運営及び経営がなされるよう助言した。 |
| | 郡山女子大学 生活科学科 | 市民講座 講師 「多様な状況にある人々の権利を擁護する成年後見制度とは」 |
| 佐藤久美 | 世界音楽療法連盟 (World Federation of Music Therapy) 広報委員会 | 本連盟広報委員として、ウェブサイト掲載情報の収集や、年次報告書の編集を担当した。 |
| 藤田京子 | 福島県喀痰吸引等基本研修会 | 2023年度福島県喀痰等吸引基本研修会において不特定多数を対象に講義を行った。(2023年6月23日・30日) |
| | 福祉の将来を担う人材育成事業 | 福祉の将来を担う人材育成事業として、福島県立会津西陵高等学校において、「高齢者の食事に関するところからだのしくみと自立に向けて介護について」の出前講座を行った。(2023年7月18日) |
| | 本宮市地域推進事業 | 本宮市高齢者いきいき交流事業開催における企画・運営に協力した。 |
| 西山慶治 | 第42回人体解剖トレーニングセミナー | 名古屋大学医学部主催のセミナーで、医療系大学の解剖学教官に人体解剖学実習を指導(2023年8月14日～8月19日) |
| | 福島県立医科大学倫理委員会 | 専門部会委員として医科大学での臨床試験研究に対する倫理審査を2年間(任期は2023年7月31日まで) |
| | 福島県立医科大学保健科学部の講義 | 非常勤講師として保健科学部の学生に、解剖学の内分泌と感覚器の2分野を講義。2回分ずつ計4回分実施(2023年9月26日、10月3日) |
| | 温知会看護学院看護科並びに仁愛高等学校第一専攻科と看護専攻科(会津若松市)に解剖学の講義と実習の指導 | 非常勤講師として看護学系の学生に解剖学の講義(11回)を行った。(2023年4月17日～2023年7月3日) |
| 菊池節子 | 郡山市保健所運営協議会委員 | 郡山市長より委嘱され、令和5年11月より栄養専門の委員として関り、保健所運営及び郡山市の地域保健の向上について協議した。 |
| | ベップキッズ郡山 ベップキッチン食育イベント | 講師 4～12歳の親子を対象に、子どもの健全な発育発達に必要な知識を学ぶ親子向けのワークショップとして「おだしを学ぼう!～おだして手作りうどんをつくろう!～」の体験活動を実施した。(2023年8月27日) |
| | 福島県スポーツ協会 スポーツ医事・トレーニング相談事業 | 講師 福島県南地区ソフトボールスポーツ少年団の児童及び指導者・保護者を対象に、「成長期児童に対する栄養指導」の相談事業を実施した。(2024年1月27日) |
| | 福島県立白河高等学校剣道部栄養サポート | 白河高等学校剣道部生徒対象の栄養サポートに携わっている。 |
| | ファミリーフェスタ郡山2023 | イベント協力 郡山市主催 「～みんなで考えよう!子育て・健康・福祉の輪～」のテーマのもと、福島県栄養士会ブースで、健康に関する意識の啓発を行った。(2023年10月29日) |
| | 古殿町包括連携事業 | 本学と古殿町との包括連携協定に基づき、町の特産品であるミニトマトの6次化商品開発に携わっている。 |
| | 一般社団法人 日本家政学会東北・北海道支部 | 幹事として会の運営に携わっている。 |
| | 一般社団法人 日本調理科学会東北・北海道支部 | 地区委員として会の運営に携わっている。 |
| 水野時子 | 公益信託 棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員 | 運営委員長として運営に携わった。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|------|--|--|
| | 公益財団法人郡山市健康振興財団理事 高齢者の食生活と健康講師 保育園児を対象とした食育 「親子で学ぶ成長期の食事と運動」講師 「米粉でお菓子づくり体験」講師 | 公益財団法人郡山市健康振興財団の理事を務めた。 郡山地区社会福祉協議会再婚支部主催の高齢者を対象とした「いきいきサロン」において、『高齢者の食生活と健康』の講師を務めた。 2023年5月24日（水）郡山市薫公民館において開催 本宮市健康力アップ応援事業「食の力講座」において、保育園児を対象に食育を行った。 ①9月1日（金）みずいろ保育園（園児44名）において開催 ②10月27日（金）まゆみ保育園（園児59名）において開催 公益財団法人福島県スポーツ協会より依頼を受け、小学校6年生とその保護者を対象に講義を行った。 2023年12月1日（金）郡山市立西田学園義務教育学校において開催 公益財団法人郡山市健康振興財団主催の米粉を使ったお菓子づくりの講師を務めた。 2023年12月9日（土）郡山中央公民館において開催 |
| 石原正道 | 郡山市個人情報保護審議会 郡山市情報公開審査会 郡山地方広域消防組合個人情報保護審議会 | 委員 諮問に応じ、審査・答申と情報保護評価の点検を行う。個人情報保護の推進への意見を述べる。 委員 諮問に応じ、審査・答申を行う。個人公開の促進に関する事項について意見を述べる。 委員 諮問された事項に関する審議を行い、個人情報保護制度に関する意見を述べる。 |
| 岡部聡子 | 郡山市総合地方卸市場運営協議会委員 NPO法人プチママン主催講演会 講師 2023年7月1日、2023年12月5日 郡山市総合地方卸市場 市場料理教室 講師 2023年9月16日 International Conference on Translation Medicine and Health Sciences (ICTMHS) 17 October 2023 JICA課題別研修 講師 2023年11月9日 鹿児島医科大学 令和5年度赤十字血液シンポジウム東北 講師 2023年12月2日 仙台AER 小・中学校における食育活動 2023年6月7日・8日、7月14日 鏡石第二小学校 2024年2月5日 鏡石第一小学校 2024年2月6日 鏡石中学校 | 協議会委員を務めた。 「子どもの食事とアレルギー～安全で安心な食事を作ろう～」と題して一般市民向けにニコニコ子ども館にて講習会を実施した。 「季節の食材のアレンジレシピ」と題して、卸市場に流通する生鮮食品を利用した料理教室を卸市場内の調理室にて親子対象に実施した。 「日本の貧血予防の栄養教育」と題してオンライン講演を行った。本年度本学とインドネシアのデポネゴロ大学との協定締結がなされ、その一環として同大学で開催された学会にて講演依頼を受けた。 「島嶼地域における地域保健から学ぶ生活習慣病対策」のJICA研修会において海外からの研修生に対して日本の食育について講義した。 「貧血のヘルスリテラシーを考える」と題して、日赤献血事業に携わる職員や一般市民向けに講演を行った。 鏡石町内の小学生や中学生を対象として鉄摂取量を向上させる栄養教育活動を実施した。 |
| 亀田明美 | 郡山市中学校給食会運営委員会 西郷村食育推進検討委員会 国立磐梯青少年交流の家「特色あるプログラム事業」及び「実践研究事業」 福島県学校栄養職員初任者研修 ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会 健康教育に係る専門家派遣事業 令和5年度福島県保育士等キャリアアップ研修 鏡石町食育推進事業：地元ゴハンコンテスト 郡山開成地区における子ども食堂運営協力 柴宮公民館しばみやキッズ「食育講座」 | 委員：郡山市中学校給食会運営委員会において、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を書面で行った。 委員：福島県西郷村主催の食育推進事業に委員として関わった。 委員：国立磐梯青少年交流の家が行った「アクティブ・ジオキャンプ2023」において、食育講座の担当及び、効果測定に携わった。 講師：福島県教育センター主催の研修会において、令和5年度新規採用の学校栄養職員の方に、「学校におけるアレルギー」について講義を行った。 講師：福島県教育委員会主催令和5年度ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会・いわき支部会において、小・中・高・特別支援学校の教職員を対象に、学校における食育の評価と子供の食生活とQOLの関連について講演を行った。 講師：福島県教育委員会主催の専門家派遣事業の講師として、泉崎村立泉崎中学校において食育講演会を行った。 講師：令和5年度福島県保育士等キャリアアップ研修、食育・アレルギー対応の分野において講師を務めた。 企画・運営：鏡石町食育推進事業の一環として、牧場の朝の町鏡石：地元ゴハンコンテストの企画運営を行った。 運営協力：NPO法人かぜのわ主催の子ども食堂において、昼食の提供と食育講座を行った。 講師：柴宮公民館主催事業「しばみやキッズ」・「元気ごはんパワー」の講師を務めた。 |
| 影山志保 | 水美来基金水環境保全活動事業 「猪苗代湖におけるウチダザリガニの制御」 福島県公害審査会審査委員 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 うつくしまCOOLサポーター養成講座 森林自己学習支援事業「郡山開成の杜復活プロジェクト」 うつくしまCOOLサポーター養成研修会 (実践研修) ファシリテーター 第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア (REIFふくしま) ふくしまゼロカーボンDAY 2023 令和5年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口英世賞審査会審査委員 カーボンニュートラルエキス泊inこおりやま プロジェクトD (どんぐり) 令和5年度地域創生総合支援事業 ふくしまSDGs未来博 | 福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域の研究予算を用いた。特定外来生物ウチダザリガニの駆除を目的として、猪苗代湖と裏磐梯地域に生息している特定外来生物ウチダザリガニの行動調査を行った。 (令和5年4月1日から現在に至る) 福島県内の公害紛争処理を担当した。 (令和5年4月1日から現在に至る) 郡山女子大学として採択され、事業名「葛尾村における地域特産品開発と食農教育」として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 (令和5年4月1日から現在に至る) 福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成研修会の開催に協力した。 (令和5年7月15日 郡山女子大学) 福島県森林計画課による補助金を活用し、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のための環境調査を行っている。今年度、総合教育園で採検・自然観察会を行った。 (令和5年8月19日・9月30日 郡山総合教育園) 福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成研修会(実践研修)でファシリテーターを務めた。(令和5年9月16日 郡山女子大学) 福島県、公益財団法人福島県産業振興センター主催による第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェアに環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。 (令和5年10月12日・13日 ビックパレットふくしま) 2050年カーボンニュートラルの実現に向け事業者、民間団体、市町村等が連携し、カーボンニュートラルに関する取組の情報発信を行う環境イベント「ふくしまゼロカーボンDAY！2023」の開催に協力した。また、本学の取り組みについても紹介した。 (令和5年10月14日 JR郡山駅西口駅前広場、なまち夢通り) 福島県内の中学生・高校生の科学・技術研究論文の審査委員を務めた。 (令和5年10月19日福島県教育委員会) 郡山市と郡山青年会議所主催によるカーボンニュートラルエキス泊inこおりやまに環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。 (令和5年10月22日 あぐりあ) (公益財団法人)日本環境協会の支援により震災以降、郡山市田村町にどんぐりの苗を植え、環境委員会として森林を育成する活動に協力している。(令和5年10月28日) 福島民報社主催によるふくしまSDGs未来博に環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。(令和6年1月20日・21日 ビックパレットふくしま) |
| 佐藤浩明 | 国民体育大会福島県少年女子バレーボール監督 | 福島県少年女子バレーボール監督、試合、練習等の計画をすること |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--|---|--|
| 郡司 尚子 | 福島県農業総合センター農業短期大学校 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 | 非常勤講師。「食品製造」を担当した。 郡山女子大学として採択され、事業名「葛尾村における地域特産品開発と食農教育」として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コンアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 |
| | 「う米めん」を活用したレシピ開発支援 | 健康栄養学科学生と共に、アルファ電子（株）が販売している「う米めん」を活用した調理実習を実施した他、レシピ開発などを行うなどして米の消費拡大の一助に携わった。 |
| | 葛尾村産「バナメイエビ」のレシピ開発支援 | (株) HANERU葛尾に協力し、葛尾村内で養殖を始めた「バナメイエビ」のレシピ開発支援を行い、村の活性化、復興支援を行った。 |
| | 都路町産「ナツハゼ」を活用した商品開発支援 | セイフティライザー（株）（郡山市）に協力し、学生と共に都路町産「ナツハゼ」を活用した商品開発支援を行い、イベントにて販売等を行った。 |
| | 「えごま納豆」の商品化支援 | 山乃屋（二本松市）に協力し、えごま納豆の商品化に向けて支援を行った。 |
| | 葛尾村地域復興支援 | 葛尾村で学生らとエゴマ栽培を行った。また、村で開催された「あぜりあ市」、「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営にも協力し、エゴマを利用した開発商品を、来場者に紹介した。（あぜりあ市2023年6月10日、エゴマ定植2023年6月24日、盆踊り2023年8月13日、感謝祭2023年11月3日、エゴマ刈取り2023年11月4日） |
| | うつくしまCOOLサポーター養成講座 | 福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成研修の開催に協力した。（令和5年7月15日 郡山女子大学） |
| | 令和5年度大学連携会議 | 葛尾村内で活動する大学（日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学）と今年度の村内での活動内容と次年度計画案について報告し、意見交換を行った（2023年8月10日現地、2024年1月31日オンライン）。 |
| | 「第2回ならは百年祭（楡葉町）への参加 | 楡葉町の復興事業の一環として行っている、町の特産品「さつまいも」を活用した学生考案商品を紹介し、来場者と交流した。（2023年8月19日） |
| | 東京農業大学主催「料理教室」への協力 | 相馬市立飯豊小学校で開催された枝豆を活用した料理教室に学生と参加し運営に協力した。（2023年8月24日 相馬市） |
| | うつくしまCOOLサポーター養成研修会 （実践研修）ファシリテーター | 福島県環境共生課・福島県地球温暖化防止推進センターによるうつくしまCOOLサポーター養成研修会（実践研修）でファシリテーターを務めた。（2023年9月16日 郡山女子大学） |
| | 森林自己学習支援事業「郡山開成の杜復活プロジェクト」 | 福島県森林計画課による補助金を活用し、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のための環境調査を行っている。今年度、総合教育園で探検・自然観察会を行った。（2023年9月30日 郡山総合教育園） |
| | 第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIFふくしま） | 福島県、公益財団法人福島県産業振興センター主催による第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェアに環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。（2023年10月12日・13日 ビックパレットふくしま） |
| | ふくしまゼロカーボンDAY 2023 | 2050年カーボンニュートラルの実現に向け事業者、民間団体、市町村等が連携し、カーボンニュートラルに関する取組の情報発信を行う環境イベント「ふくしまゼロカーボンDAY！2023」の開催に協力した。また、本学の取り組みについても紹介した。（2023年10月14日 JR郡山駅西口駅前広場、なかまち夢通り） |
| | カーボンニュートラルエキスポinこおりやま | 郡山市と郡山青年会議所主催によるカーボンニュートラルエキスポinこおりやまに環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。（2023年10月22日 あぐりあ） |
| | プロジェクトD（どんぐり） | （公益財団法人）日本環境協会の支援により震災以降、郡山市田村町にどんぐりの苗を植え、環境委員会として森林を育成する活動に協力している。（2023年10月28日） |
| | 「村民食堂」（飯館村）の運営 | 一般財団法人飯館まで文化事業団が主催する「村民食堂」の運営に協力し、食物栄養学科郡司研究室が提供したえごまを使った「ラーメン膳」と共に健康栄養学科が凍み餅を使った「凍みまんじゅう」を提供した。（2023年11月25日 飯館村） |
| 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」への参加 | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出展し、葛尾村のえごま、楡葉町のさつまいも、都路町のナツハゼなど地域特産品を活用した開発商品の販売を行った。（2023年12月9日 ミューカルがくと館） | |
| 令和5年度地域創生総合支援事業 ふくしまSDGs未来博 | 福島民報社主催によるふくしまSDGs未来博に環境委員会として参加し、本学の取り組みについて紹介した。（2024年1月20日・21日 ビックパレットふくしま） | |
| 郡山女子大学学生との「料理教室」の開催 | 葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした。（2024年2月2日 葛尾村） | |
| 諏訪 雅貴 | 日本体力医学会 | 評議員 |
| | 日本体力医学会東北地方会 | 役員 |
| | 郡山市あさかの学園大学 | 講師「生涯学習講座」 |
| | 第42回福島県高等学校総合文化祭自然科学部門、 第36回福島県高等学校生徒理科研究発表会 | 論文発表事前審査及びポスター発表審査を行った。 （令和5年11月18日 日本大学東北高等学校） |
| | 福島大学 | 共生システム理工学類および食農学類非常勤講師「健康運動科学実習」、「スポーツ実習」 |
| | 第20回市民フォーラム | 郡山女子大学食物栄養学科が主催する市民フォーラムにて、「職域における運動指導の実際」のテーマで講演を行った。 （令和6年1月20日 郡山女子大学） |
| | Biogerontology | 原著論文のゲストレビュアー 2件 |
| | Sensors | 原著論文のゲストレビュアー 1件 |
| | Healthcare | 原著論文のゲストレビュアー 1件 |
| | Cytotechnology | 原著論文のゲストレビュアー 1件 |
| Metabolic Syndrome and Related Disorders | 原著論文のゲストレビュアー 1件 | |
| 伊藤 央奈 | 郡山市社会教育委員会 | 委員として「地域学校協働活動推進事業の在り方」についての協議を行った。 任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日 |
| | 郡山市健康づくり推進懇話会 | 委員として「第三次みなぎる健康生きいきこおりやま21」の作成に携わった。 任期：令和4年1月28日～3年間 |
| | 全国健康保険協会福島支部 健康づくり推進協議会 | 委員として保健事業について意見を述べた。 任期：令和4年5月23日～令和6年3月31日 |
| | 郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業 「食と健康に関する地域連携」 | 鏡石町高齢者サロンでの健康調査と減塩健康教室を実施した。 令和5年8月～9月 |
| | チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業 | チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。福島県産食材を使ったヘルシーメニューを開発し、スーパーなどでPR活動を行った。 令和5年7月～令和6年3月 |
| | 「おいしいふくしまいただきます！キャンペーン」 INイオンモール小名浜 | 福島県農林水産部主催のキャンペーンにて、福島県産品を活用したヘルシーメニューのクッキングステージに出演した。令和5年11月23日 |
| | 朝日ラバー株式会社社員の健康増進の取り組み | 社員を対象に健康増進の取り組みとして、食生活や健康に関する掲示物の作成や創立記念式典でセミナーなどを実施した。令和5年4月～令和6年3月 |
| | 学校法人石川義塾の学生寮の栄養管理 | 学校法人石川義塾の学生寮の献立を作成し、入寮する生徒に対する栄養管理を行った。 令和5年4月～令和6年3月 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|----------------------|---|---|
| | フレイル予防啓発イベント | 福島県健康づくり推進課主催のフレイル予防啓発イベントにて、フレイル予防のメニューを開発し、調理実習のデモンストレーションを行った。 令和5年12月17日 |
| 星 千 歳 | 行政栄養士現任教育研修会 郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業 「食と健康に関する地域連携」 チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した食の広報・PR業務 古河電池株式会社の社員への健康増進の取り組み | 講師：南会津保健福祉事務所主催の研修会において、管内の管理栄養士・栄養士を対象に「町村におけるPDCAサイクルを踏まえた栄養改善業務の評価について」の講義を行った。 2023年9月1日 鏡石町高齢者サロン参加者を対象に調査と健康講話を実施した。 2023年8月23日、9月12日、9月13日、9月15日 チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。福島県食育応援企業団と家庭向けヘルシーメニューを共同開発し、メニューのPR活動を行った。 2023年7月29日イオンフェスタ郡山店 2023年10月29日ヨークベニマル郡山島店 社員食堂においてヘルシーメニューの提供（7月6日）と社員を対象にヘルシーライフセミナーを対面とオンラインで実施（11月7日）した。 |
| 角 田 真佐枝 | 県北集団給食研究会 伊達市教育委員会 KFB福島放送 シェア 福島県医療福祉関連教育施設協議会 ヘルスケアレストラン 株式会社日本医療企画 鏡石町民健康における食生活状況と活動量（運動との関係）調査、 鏡石町連携協定における食生活支援・健康支援調査事業 県北集団研究会 日本栄養士連盟 福島県支部 一般社団法人日本栄養経営実践協会東北支部 | 「寝たきり予防の栄養術」講演 令和5年5月 「フレイルを防ぐための食事」講演 令和5年5月 高血圧予防・減塩についての番組に出演 令和5年5月 震災から12年多職種で支える県民の健康 委員として参加 第1回 7月 太田看護専門学校 第2回 9月 郡山女子大学 養成校レポート「幅広い視点から地域の健康をとらえ高い専門性でその改善に努める人材を育成する」をテーマに研究室紹介のインタビュー記事が掲載された。令和5年8月 鏡石町河西市防災センターにて調査に参加 令和5年8月 研修会のプランニング、開催、司会担当 令和5年10月 役員として活動 役員として活動 |
| 柳 沼 和 子 | 葛尾村地域復興支援 鏡石町食育推進事業 郡山女子大学学生との「料理教室」の開催 | 葛尾村で学生らとエゴマ栽培を行った。エゴマ刈取り（葛尾村 2023年11月4日） 地元ゴハンコンテストの企画と運営：鏡石町食育推進事業の一環として、牧場の朝の町鏡石地元ゴハンコンテストの企画運営を行った。 （鏡石町 2023年12月9日） 葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした。 （葛尾村 2024年2月2日） |
| 橋 本 杏 菜 | 鏡石町食育推進事業：地元ゴハンコンテスト 企画・運営 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 | 鏡石町食育推進事業の一環として、牧場の朝の町鏡石地元ゴハンコンテストの企画運営を行った。 郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 |
| 星(根本) 絢香 | 郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業 「食と健康に関する地域連携」 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 葛尾村地域復興支援 郡山女子大学学生との「料理教室」の開催 | 鏡石町民を対象と「地域サロンにおける栄養・健康教室」の実施 ・8月23日 講話及び健康調査 郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 葛尾村で学生らとエゴマ栽培を行った。また、村で開催された「あぜりあ市」、「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営にも協力し、エゴマを利用した開発商品を、来場者に紹介した。 （エゴマ定植2023年6月24日、エゴマ刈取り2023年11月4日） 葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした。 （葛尾村 2024年2月2日） |
| 吉 田 朱 里 | 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 葛尾村地域復興支援 森林自己学習支援事業「郡山開成の杜復活プロジェクト」 鏡石町食育推進事業：地元ゴハンコンテスト 企画・運営 郡山女子大学学生との「料理教室」の開催 | 郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 葛尾村で学生らとエゴマ栽培を行った。 （エゴマ定植2023年6月24日、エゴマ刈取り2023年11月4日） 福島県森林計画課による補助金を活用し、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のための環境調査を行っている。今年度、総合教育園で探検・自然観察会を行った。 （令和5年8月19日・9月30日 郡山総合教育園） 鏡石町食育推進事業の一環として、牧場の朝の町鏡石地元ゴハンコンテストの企画運営を行った。（2024年12月9日） 葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした。 （葛尾村 2024年2月2日） |
| 佐 藤 朱 莉 | 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 葛尾村地域復興支援 「第2回ならは百年祭（楡葉町）への参加 郡山女子大学学生との「料理教室」の開催 鏡石町食育推進事業：地元ゴハンコンテスト 企画・運営 | 郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 葛尾村で学生らとエゴマ栽培を行った。 （エゴマ定植2023年6月24日、エゴマ刈取り2023年11月4日） 楡葉町の復興事業の一環として行っている、町の特産品「さつまいも」を活用した学生考案商品を紹介し、来場者と交流した。（2023年8月19日） 葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を開催した。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした。 （葛尾村 2024年2月2日） 鏡石町食育推進事業の一環として、牧場の朝の町鏡石地元ゴハンコンテストの企画運営を行った。 |
| 【郡山女子大学短期大学部】 | | |
| 齋 藤 美保子 | 福島県立美術館運営協議会 郡山市美術館収集評価選定委員会 | 委員として美術館の運営を協議する（2月20日）と共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。 委員として郡山市立美術館の作品収集を協議する会議（12月13日）に出席すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。 |
| 會 田 久仁子 | ラジオ福島番組制作協力 福島中央テレビ番組審議委員会 福島県安全で安心な県づくりの推進会議 郡山市環境審議会 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」への参加 | 月曜日朝8時20分からの放送番組「朝から全開！朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。 令和5年5月および11月計9回分担当 福島中央テレビ番組審議委員会に出席し、毎月提示される福島中央テレビ制作の番組について審議意見を述べている。 福島県知事より委嘱され令和4年10月から、県の安全で安心な県づくり推進および市町村県民への活動支援に対する意見助言のため「福島県安全で安心な県づくり推進会議」に出席している。 郡山市長より委嘱され令和元年11月から、郡山市の環境の保全に関する基本的事項等について調査や審議を行っている。 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品の販売を行った。 （令和5年12月9日） |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|--|---|
| | 「ふくしまSDGs未来博」への協力 | 福島民報社が主催する「ふくしまSDGs未来博」で提供された1000人分のちゃんこ鍋作成のための下準備に協力した。(令和6年1月20日・21日) |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクーすいとん」を作り来場者に試食を提供した。(令和6年3月11日) |
| 源川 博久 | 郡山市廃棄物減量等推進審議会委員 | 郡山市の一般廃棄物の減量等をはじめとした廃棄物行政に関する審議委員として、郡山市一般廃棄物処理基本計画の改訂などに関して審議し、参考意見をとりまとめた。 |
| | 第20回(令和5年度)栄養士実力認定試験問題採用 | 一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第20回(令和5年度)栄養士実力認定試験問題募集にに応じ、食品学総論ならびに栄養学総論に採用された。 |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクーすいとん」を作り来場者に試食を提供した。(2024年3月11日) |
| 小林 澄枝 | 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 | 郡山女子大学として採択され、事業名「葛尾村における地域特産品開発と食農教育」として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 |
| | 葛尾村地域復興支援 | 葛尾村の特産品である凍みもちを利用した学生が考案した商品以下の行事に参加して来場者に試食していただいた。 1) あぜりあ市「凍みもちスイートポテト春巻」「凍みベビーカステラ」を各100個ずつ製作した。(2023年6月10日(土)復興交流館あぜりあ) 2) 葛尾村盆踊り「凍みキャンディーパイ」「凍み水ようかん」「凍み冷やしみたらし団子」各100個ずつ製作した。(2023年8月13日(日)復興交流館あぜりあ駐車場) 3) かつらお感謝祭「凍みもち栗大福」「凍みごま団子月見パイ」を各100個ずつ製作した。(2023年11月3日(金)復興交流館あぜりあ) 4) 凍みもちせんべいの販売 郡山女子大学短期大学部 健康栄養学科ブランドの「凍みせんべい」を商品化し30個製作販売を開始した。(2023年11月22日(水)復興交流館あぜりあ内) |
| | 福島保育協議会会支部研修会講師 | 会津地域17市町村のこども園、保育所・園の栄養士、調理師、保育教諭などの研修会において「気をつけたい子どもの栄養と疾患」についてオンライン研修会を行い講師を務めた。(2023年8月29日(火)オンライン研修会) |
| | おのまち健康まつりスイーツ提供 | 小野町健康祭りにおいて発酵食品マルシェの中で健康栄養学科企画・製作。2. によるスイーツの販売を行った。「発酵の力 クッキー詰め合わせ」65個、「味噌マドレーヌ」65個、「塩麹ガトーショコラ」70個を作製した。 2023年9月10日(日)小野町民体育館B&G海洋センターアリーナ内 |
| | 東北カップスイーツ提供 | 郡山市にて東北6県のバスケットボール(第11回東北カップinFUKUSHIMA)が開催され、郡山の名産品を販売するコーナーで健康栄養学科企画・製作したスイーツを販売した。 (2023年9月16日(土)～9月18日(月)郡山総合体育館) |
| | JA福島さくら「親子で学ぼう農業体験」 | JA福島さくら主催の「親子で学ぼう農業体験」のイベントにおいてワークショップ「おむすびの作り方」の講師を務めた。 (2023年11月18日(土)JA福島さくら日和田総合支店) |
| | 「村民食堂」の運営 | 一般財団法人飯館までい文化事業団が主催する「村民食堂」において、大学食物栄養学科郡司研究室が提供したえごまを使った「ラーメン膳」と共に凍み餅を使った「凍みまんじゅう」を提供し、運営に協力した。 (2023年11月25日(土)飯館村までい館) |
| | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」への参加 | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品(シフォンケーキ、スイートポテト、スティックパイ、クッキー等300個を作製し販売を行った。 (2023年12月9日(土)、郡山市ミュージカルがくと館大ホール) |
| | 「ふくしまSDGs未来博」への協力 | 福島民報社が主催する「SDGs未来博」で提供された1000人分のちゃんこ鍋作成のための野菜類の下準備に協力した。 (2024年1月20日・21日 郡山ビックパレット) |
| | 郡山女子大学学生との料理教室 | 葛尾村で女子大生が栽培した「えごま」や葛尾村特産「凍みもち」を使って学生と村民が一緒になって料理作りの体験をした。 (2024年2月2日(金)葛尾村活性化センター) |
| | 阿武隈高地の凍み餅を【食べる】シンポジウム -エネルギーを使わない伝統の保存技術- | 食べるシンポジウムにおいて、凍み餅のアレンジ菓子の試食や販売ができるコーナーを開設し、「凍み文化」を未来につなぐに協力した。 (2024年2月23日(金)福島市土湯温泉YUMORI) |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクーすいとん」を作り来場者に試食を提供した。 (2024年3月11日(月)郡山駅前広場) |
| | 福島大学 食農学類 | 「調理学」の非常勤講師を務めた。 |
| | 福島県立医科大学 別科助産学専攻 うめつLS内科クリニック | 「母子健康包括支援学」の非常勤講師を務めた。 非常勤管理栄養士として糖尿病の食事療法に関する栄養カウンセラーを務めた。 |
| 金子 依里香 | 郡山市消費生活審議会委員 | 任期: 令和4年11月1日～令和6年10月31日 |
| | こおりやま広域連携中核都市圏ビジョン懇談会構成員 | こおりやま広域連携中核都市圏ビジョン懇談会構成員として懇談会へ参加した。 (2023年10月20日、2024年2月14日) |
| | 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 | 郡山女子大学として採択され、事業名「葛尾村における地域特産品開発と食農教育」として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 |
| | 葛尾村地域復興支援 | 葛尾村「あぜりあ市」および「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。 (あぜりあ市2023年6月10日、オヤマボクチ・エゴマの定植2023年6月24日、盆踊り2023年8月13日、感謝祭2023年11月3日、エゴマ・オヤマボクチ刈取り2023年11月4日、料理教室2024年2月2日) |
| | 令和5年度大学連携会議 | 葛尾村内で活動する大学(日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学)と今年度の村内での活動内容と次年度計画案について現地またはオンライン会議で報告し、意見交換を行った。 (2023年8月10日、2024年1月31日) |
| | 「村民食堂」の運営 | 一般財団法人飯館までい文化事業団が主催する「村民食堂」において、大学食物栄養学科郡司研究室が提供したえごまを使った「ラーメン膳」と共に凍み餅を使った「凍みまんじゅう」を提供し、運営に協力した。(2023年11月25日) |
| | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」への参加 | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品の販売を行った。 (2023年12月9日) |
| | 復興の灯火プロジェクト | 東日本震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。 |
| | 「ふくしまSDGs未来博」への協力 | 福島民報社が主催する「SDGs未来博」で提供された1000人分のちゃんこ鍋作成のための下準備に協力した。(2024年1月20日・21日) |
| | 『阿武隈の冬』を食べるシンポジウム -エネルギーを使わない伝統の保存技術- | シンポジウムにおいて、小セッションの1つである「凍み文化」を未来につなぐに協力した。 また、パネリストとして参加した。(2024年2月23日) |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクーすいとん」を作り来場者に試食を提供した。(2024年3月11日) |
| 澤渡 優喜 | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクーすいとん」を作り来場者に試食を提供した。(2024年3月11日) |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|--|--|
| | 第20回(令和5年度)栄養士実力認定試験問題採用 | 一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第20回(令和5年度)栄養士実力認定試験問題募集に応募し、食品学総論、食品学各論、食品衛生学の問題が採用された。 |
| | 郡山食品工業団地協同組合 | 食品安全衛生講習会の講師を担当。(2024年2月29日) |
| 善方美千子 | 葛尾村地域復興支援 「SDGs未来博」への協力 | 葛尾村でのエゴマ・オヤマボクチ刈取りに協力した。(2023年11月4日) |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 福島民報社が主催する「SDGs未来博」で提供された1000人分のちゃんこ鍋作成のための下準備に協力した。(2024年1月20日・21日) |
| 加藤雅子 | 「SDGs未来博」への協力 | 福島民報社が主催する「SDGs未来博」で提供された1000人分のちゃんこ鍋作成のための下準備に協力した。(2024年1月20日・21日) |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクすいとん」を作り来場者に試食を提供した。(2024年3月11日) |
| | 「う米めん」を活用したレシピ開発支援 | 健康栄養学科学士と共に、アルファ電子(株)が販売している「う米めん」を活用した調理実習を実施した他、レシピ開発などを行うなどして米の消費拡大の一助に携わった。 |
| 上遠野 伶 | 葛尾村地域復興支援 | 葛尾村「あぜりあ市」および「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。 (あぜりあ市2023年6月10日、オヤマボクチ・エゴマの定植2023年6月24日、盆踊り2023年8月13日、感謝祭2023年11月3日、料理教室2024年2月2日) |
| | 「村民食堂」の運営 | 一般財団法人飯館までい文化事業団が主催する「村民食堂」において、大学食物栄養学科郡司研究室が提供したえごまを使った「ラーメン膳」と共に凍み餅を使った「凍みまんじゅう」を提供し、運営に協力した。(飯館村 2023年11月25日) |
| | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」への参加 | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品の販売を行った。(2023年12月9日) |
| | 「ふくしまSDGs未来博」への協力 | 福島民報社が主催する「SDGs未来博」で提供された1000人分のちゃんこ鍋作成のための下準備に協力した。(2024年1月20日・21日) |
| | 『阿武隈の冬』を食べるシンポジウム -エネルギーを使わない伝統の保存技術- | シンポジウムにおいて、小セッションの1つである『凍み文化』を未来につなぐに協力した。 (福島市 2024年2月23日) |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクすいとん」を作り来場者に試食を提供した。(2024年3月11日) |
| 大野 絵梨子 | 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業 | 郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 |
| | 葛尾村地域復興支援 | 葛尾村「あぜりあ市」および「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。 (オヤマボクチ・エゴマの定植2023年6月24日、エゴマ・オヤマボクチ刈取り2023年11月4日、料理教室2024年2月2日) |
| | 令和5年度(第20回)栄養士実力認定試験への問題応募 | 令和5年度(第20回)栄養士実力認定試験において問題を作成・応募をし、調理の科目にて問題が1問、採用された。(2023年12月10日) |
| | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」への参加 | 「ふたば・こおりやまふれあい祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品の販売を行った。(2023年12月9日) |
| | 復興の灯火プロジェクト | 東日本震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。 |
| | 「ふくしまSDGs未来博」への協力 | 福島民報社が主催する「SDGs未来博」で提供された1000人分のちゃんこ鍋作成のための下準備に協力した。(2024年1月20日・21日) |
| | 3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」への参加 | 県が主催する「キャンドルナイト」において、要配慮者のための災害時の食事および備蓄品の準備についてパネル発表を行った。またパネル中の乳幼児の非常食から「ミルクすいとん」を作り来場者に試食を提供した。(2024年3月11日) |
| 磯部 哲夫 | 会津演奏家連盟 全日本音楽教育研究会 福島県音楽協会 高声会 | 副代表 各種コンサート、音楽鑑賞教室の企画、運営。 会員 音楽教育についての研究発表 会員 歌唱領域についての研究発表 会員 歌唱領域についての研究発表 |
| 一柳 智子 | 民族芸術学会理事 比較舞踊学会評議員 白河市文化財保護審議会委員 | 第176回民族芸術学会オンライン理事会に出席した。 学会誌『arts/』投稿論文査読2本担当。 第33回比較舞踊学会大会時の評議委員会と理事会に出席した。 第33回比較舞踊学会大会実行委員会から運営状況の説明と令和5年度予算執行状況および令和6年度予算案の説明を受けた。 白河市文化財保護審議会委員に出席した。 令和5年11月21日第1回諮問会議「白河市指定文化財の諮問」および令和5年度文化財保護事業についての報告 |
| 横溝 聡子 | 郡山市立公民館運営審議会 郡山市青少年健全育成推進協議会 第4回福島県コーラスワークショップ 第32回東北青少年音楽コンクール宮城県北地区大会 第33回日本クラシック音楽コンクール福島予選会 第33回日本クラシック音楽コンクール福島本選会 | 委員長 委員会運営及び郡山市立公民館運営の諮問事項に関する協議を行い、答申をまとめた。 委員 講師 令和5年5月27日(土) 会場:郡山女子大学建学記念講堂 福島県合唱連盟主催福島県コーラスワークショップにおいて講師を務めた。 審査員 令和5年6月18日(日) 会場:中新田文化会館パハホール 宮城県北地区大会において審査員を務めた。 審査員 令和5年8月18日(金) 会場:けんしん郡山文化センター 日本クラシック音楽コンクールピアノ部門予選会において審査員を務めた。 審査員 令和5年10月9日(月) 会場:けんしん郡山文化センター 日本クラシック音楽コンクールピアノ部門本選会において審査員を務めた。 |
| 早川 仁 | ・県南美術協会 ・本宮市民元いきいき応援プラザ(地域貢献活動支援事業) ・郡山市地方社会福祉審議会 ・福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 ・福島県保育人材対策連絡会 | ・4月~9月事務局総務担当として定期的に、会員・会友作品展運営。 県南美術展開催の計画、準備打ち合わせ。 7月27日 県南美術展 役員会議(郡山市民プラザ7階会議室) 9月13日~19日 県南美術展開催運営 ・子育て支援事業「いっしょに遊ぼう」通称「えはか」の計画・学生指導。 12月2日(土)・12月9日(土) ・11月24日(金) 主に市内保育支援に関する質の向上、施設認可関連の審議。 市内2園の無認可保育園から認可保育園への承認・他について審議。 ・9月6日(水) 福島県私立幼稚園・認定こども園教諭就職セミナー本学開催についての協議打ち合わせ~実施。 ・12月1日(金) オンライン会議参加 各部署からの人材確保関連事業報告・就職説明会について・意見交換等の協議。 |
| 山上 裕子 | 郡山市 子ども・子育て会議 委員 | 委員として会議に参加している。 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|---|--|---|
| | 郡山市 放課後児童クラブ指定管理者選定審議会 委員 | 副委員長として審議を行っている。 |
| 折笠 国 康 | 福島リビング新聞社 | 「子ばなれ、親ばなれって何？」 2023年6月23日 リビング福島1面掲載 |
| | 福島リビング新聞社 | 「子ばなれ、親ばなれって何？」 2023年7月14日 リビング福島1面掲載 |
| | 公益財団法人 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 | 全日本私立幼稚園連合会第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会及び、 第11回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会 講師 「『養成校から見た学生・新任教員支援（指導）』 ～保育者として育てるためのヒント～」 2023年10月20日 ホテルアネックス |
| | 一般社団法人福島市私立幼稚園協会 | 教育研究部会 研修会講師 「保育に活かすアドラー心理学」 2024年1月24日 認定こども園 福島愛隣幼稚園 |
| 草野 葉 子 | アカデミア・コンソーシアムふくしま 事業推進委員 | 福島県内の大学・短大等26機関による「大学間連携共同教育推進事業」に関する審議。 |
| 松田 理 香 | 郡山警察署協議会 | 委員 警察施設等の視察と警察署長の諮問事項について協議した。 |
| 永瀬 悦 子 | 郡山市子育て支援施設等指定管理者選定審議会 | 会長 郡山市子育て支援施設等指定管理者選定に係る審議・選定。 |
| | 福島県子育て支援課 | 講師 令和5年度福島県保育士等キャリアアップ研修会 専門分野別研修「乳児保育」 令和5年12月4日・11日実施 ※オンライン 令和6年1月15日・22日実施 ※オンライン |
| 柴田 卓 | ・日本自然保育学会 | 理事 事務局長／副会長 |
| | ・子ども里山教育活動推進検討会（福島県） | 会長 福島県子ども里山教育・自然保育支援事業について検討を行った。 |
| | ・小野町 自然を活かした保育活動 | 講師 「わくわくどきどきたんけんたい」の指導および評価（年7回） |
| | ・三春町 自然を活かした保育活動 | 講師 「三春町ちびっことたんけんたい」の指導および評価（年9回） |
| | ・国見町 自然を活かした保育活動 | 講師 国見町立くにみ幼稚園の園児対象に年2回の自然遊びを指導した。 |
| | ・福島県 「子どもと青年の異世代交流事業」および「自然あそび事業」 | 講師 県内の保育者養成校の学生に対し、自然遊びのワークショップ等を行い、親子自然あそびイベントの企画と運営をサポートした。 |
| | ・葛尾村 自然を活かした保育活動 | 講師 葛尾村立葛尾幼稚園の園児対象に年2回の自然遊びを指導した。 |
| ・第37回 東北地区私立幼稚園教育研修大会（福島大会） | 講師 附属幼稚園の公開保育指定討論および関連ワークショップの指導を行った。 | |
| ・郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会 幼児教育センター 研修会（自然保育） | 講師 フォレストパークあだたらにて「自然保育のアクティビティ」を取り入れた研修会を実施した。 | |
| 宇治 和 子 | 奈良女子大学大学院 放送大学 | 非常勤講師。公認心理師養成科目「福祉分野に関する理論と支援の展開」を担当した。 非常勤講師。「日常の中の臨床心理学」を担当した。 |
| | 小野町地域創生総合戦略推進会議委員 | 「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる34事業と、「小野町過疎地域持続的発展計画」により取り組んだ事業の報告を聞き、効果検証を行った。 |
| | 本宮市総合計画審議会委員 | 本宮市第2次総合計画前期基本計画の検証と、後期基本計画についての素案を検討、パブリックコメント確認後、最終的に市長への答申を行った。 |
| | 郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会 幼児教育センター総会・ 第1回全体研修会 講師 令和5年度郡山市公立保育所長会研修会 講師 | 令和5年5月10日（水）オンライン形式 講演「子どもと保育者、暴力をめぐる問題 ～こどもまんなかの保育者の専門性～」 令和5年8月17日（木） 講演「虐待やハラスメント等の防止策としてのアンガーマネジメントについて」 |
| 安部 高太朗 | 三春町幼児教育アドバイザー派遣事業連絡会議 講師 | 令和6年1月30日（火） 会場：三春町役場 2階会議室 「認定こども園岩江こども園（仮称）の保育カリキュラム」について話題提供した。 |
| 深谷 悠里絵 | 開南幼稚園 評議員会 | 評議員 2023年6月13日 場所：開南幼稚園 昨年度の活動内容と予算について報告を受け、今年度の予算について審議を行った。 |
| | | 評議員 2023年12月20日 場所：開南幼稚園 今年度の活動報告と予算について報告を受け、令和6年度からの幼稚園運営について審議を行った。 |
| 山脇 功 次 | 西成ボッチャカップ実行委員会 | 司会・運営参加・支援。大阪市西成区の障害者スポーツの推進活動。 |
| | 大阪市西成区社会福祉協議会 西成区ボランティア・市民活動センター | アドバイザー・大阪市西成区の地域福祉推進のための諸活動について、アドバイザー業務に従事。 |
| 佐々木 郁 子 | 郡山女子大学附属幼稚園 育児講座 | 2023年9月5日 講師「保育内容「言葉」から保育現場「言葉」へ」 |
| | 郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会 幼児教育センター 新任基礎研修会 | 2023年10月11日 講師「保育内容「言葉」から保育現場「言葉」へ」 |
| | 公益社団法人 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 第6回新任教員研修会 | 2023年12月25日 講師「言葉かけから見直す不適切な保育について」 |
| | (株)チャイルド社 オンライン専用研修講座 | 2024年3月 講師「不適切な保育に陥らないための言葉かけ」 |
| | (株)チャイルド社 オンライン専用研修講座 | 2024年3月 講師「食事場面における保育者の言葉かけ」 |
| 浅野 章 | 福島県美術家連盟 | 会員 福島県の美術普及活動 |
| | 福島県南美術家連盟 | 評議員 福島県南地区の美術普及活動 |
| | 国画会 | 絵画部会員 作品審査・運営業務 |
| | 自然保護・社会奉仕のためのチャリティー | 出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて第97回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額を慈善団体に寄付した。 |
| | KFB放送番組審議会 | 番組審議会委員 KFB福島放送の番組について審議した。 |
| | 福島民報特別通信員 | 特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供 |
| | いわき美術協会展 | 作品審査・講評 |
| | 福島県総合美術展 | 絵画部招待作家 |
| | 郡山市総合美術展 | 絵画部招待作家 |
| | MOA美術館郡山児童作品展 | 郡山市内の小学生を対象としたコンクール出品作の審査および講評 |
| 何 燕 生 (福島寅太郎) | 武漢大学文明対話高等研究院『文明対話論叢』 | 編集委員 論文の査読、編集と企画 |
| | 北京大学『北大仏学』編集委員 | 論文の査読、編集と企画 |
| | 日本宗教学会 学会誌『宗教研究』編集委員 | 論文の査読、編集と企画 |

| 氏名 | 審議会・委員会等名 | 職務・活動内容 |
|--------|---|---|
| | 香港中文大学『人間仏教研究』編集委員 Journal of Buddhist Philosophy (SUNY Press) Editorial Board 中山大学『漢語仏学評論』編集委員 印度学宗教学会 学会誌『論集』編集委員 印度学宗教学会 常任理事 日本宗教学会評議員 | 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 論文の査読、編集と企画 学会の運営 学会の運営 |
| 齊藤 弘久 | 福島県水彩画会 埼玉県版画家協会 | 監事・版部部会員 運営業務、審査 副会長・会員 |
| 桑野 聡 | 郡山市市史編纂推進委員会 郡山市勤労青少年ホーム運営委員会 | 令和4年9月より郡山市史の続編5（2012～2021）作成のために「教育・文化ワークショップ」の委員として編別構成の決定、執筆者の選定・依頼などを検討し、作業を進めた。 6月より中央公民館の併設組織である「勤労青少年ホーム」の現状と課題について年2回の運営委員会に参加し、意見交換を行うと共に、同組織の事業に参加するなどして活動支援を行っている。 |
| 知野 愛 | 福島県教育庁県中教育事務所 地域家庭教育推進県中ブロック会議 公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会 こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議 郡山市男女共同参画審議会 郡山市貸館施設等指定管理者選定審議会 | 県中ブロック会議アドバイザー・第1、2回の地域家庭教育推進県中ブロック会議で議長を務めた。 評議員・郡山市観光交流振興公社の事業運営等を話し合う評議員会に出席した。 会員・こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議議題について回答書を提出。 委員・第三次郡山男女共同参画プラン改訂版実施状況報告、郡山市男女共同参画推進事業者表彰応募事業者の選考に参加した。 委員・郡山市貸館施設等指定管理者選定審議会（令和5年5月～10月） |
| 小松 太志 | ふたば・こおりやまふれあい祭り実行委員会 いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』チャレンジ・アワード審査委員会 福島県立あさか開成高等学校 令和5年度プチ国際理解講座 講師 3.11 ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」実施業務委託に係る審査委員会 復興の灯火プロジェクト | 委員 開催にかかわり、主に運営に関わる学内の取りまとめを担当した。 委員 環境省による福島県の環境に関する取組の提案、復興へのアイデア、活動などをまとめた作品を募集するコンテストの審査を担当した。 講師 「デザインで考える：復興と地域貢献」を主題に講演を行った。 委員 福島県 県中地方振興局によるふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」実施業務委託に係る審査を担当した。 事務局 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの企画・運営を担当した。 |
| 山口 猛 | 福島県教育委員会 福島県生徒指導アドバイザー 福島県教育委員会 次世代のためのメディアリテラシー育成事業講師 福島県県中地方振興局 地域の魅力発信事業 | 情報モラルの観点から、講演や研修会等への支援を行った。 講演等2回実施 ICT教育の観点から、講演や研修会等への支援を行った。 会議4回出席、講演等4回実施 地域創成学科取材活動プロジェクト6名が、福島県中12市町村を取材し、CJ Monmo Instagramで情報発信を行う活動について、指導を行った。 |
| 仲田 佐和子 | 公益財団法人郡山市文化・学び振興公社 | 理事 市民文化の振興、文化財の調査研究及び労働福祉の増進を行う公益法人において、文化財関連の理事として理事会において予算等を審議した。 |
| 黒沼 令 | 福島県美術家連盟評議員 福島県総合美術展覧会運営委員 福島県、福島県美術家連盟、福島県在京美術家協会 岩手県高等学校文化連盟 郡山市総合美術展審査員 アートによる新生ふくしま交流事業 アートで広げるみんなの元気プロジェクト講師 脈・FUKUSHIMA2023展 実行委員 | 福島県美術家連盟の運営業務を行った。 第77回福島県総合美術展の運営委員として展覧会の運営業務を担当した。 第43回出品者研修会の彫刻の部講師として福島県総合美術展出品作品の講評と出品者との意見交換を行った。 楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞）、トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作を行った。 第67回郡山市総合美術展、彫刻・工芸部門の審査を行った。 福島県主催の事業。郡山市内の復興公営団地を会場として、彫刻技法を活用したワークショップの講師を担当した。 脈・FUKUSHIMA2023展の実行委員として、展覧会の運営、記録冊子作製等の業務を担当した。 |
| 佐藤 愛未 | 福島県文化振興事業団評議員会 郡山市史編さん推進委員会 郡山市文化財保護審議会 | 評議員を務め、令和5年（2023）6月26日の評議員会に出席し、事業団の運営を協議した。 『郡山市史』全編改訂ワークショップ委員を務め、令和5年（2023）5月12日のワークショップに出席し、改訂箇所に関する確認および新編作成に関する検討を行った。 審議会委員を勤め、令和5年（2023）12月14日の第2回審議会委員会に出席し、同市文化財の指定に関する審議を行った。 |
| 和知 剛 | 郡山市図書館協議会 | 図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。 |
| 佐々木 達矢 | 令和5年度福島県安全で安心な県づくり促進事業 社会情報学会 日本人工知能学会論文誌、 Ethology, Humanities and Social Sciences Communications, PLoS Computational Biology, Journal of Theoretical Biology, Physical Review E The 2023 Conference on Artificial Life ("ALIFE 2023") 放送大学 | 猪苗代町西館地区において、福島県及び猪苗代町と協力して地区防災計画策定のために向けた支援業務に参加した。 総務委員会の事務局委員（任期：2023年4月～2027年3月）を務めた。 左記の国際ジャーナル（6誌）に投稿された原著論文の査読者を務めた。 左記の国際会議のプログラム委員を務めた。 |
| 米本 順子 | MOA美術館郡山児童作品展 復興の灯火プロジェクト | 郡山市内の小学生を対象としたコンクール出品作の審査。 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。 |

